

令和 2 年度  
「酒蔵ツーリズムの現状と課題」調査  
報告書

2021 年 3 月

日本酒蔵ツーリズム推進協議会

事務局：公益社団法人日本観光振興協会

## 目次

1. 本調査の趣旨	3
2. 調査概要	3
(1) 調査主体	3
(2) 調査担当	3
(3) 調査協力	3
(4) 調査期間	3
(5) 調査対象	3
(6) 調査手法	3
(7) 調査項目	4
(8) 回収率	4
3. 調査結果	5
(1) 調査結果（ポイント）	5
(2) 酒蔵・酒造関係者を対象とした調査	15
(3) 地方自治体・観光協会等を対象とした調査	33
(4) 民間企業を対象とした調査	48
(5) 今後の取り組みについて	58

### <参考資料>

- I. 酒蔵・酒造関係者を対象とした調査 項目
- II. 地方自治体・観光協会等を対象とした調査 項目
- III. 民間企業を対象とした調査 項目

## 1. 本調査の趣旨

2019年、訪日外国人観光客は3,000万人を突破した。観光庁の「訪日外国人消費動向調査」によると、日本を訪れる訪日外国人観光客の目的のひとつに「日本食・お酒を楽しむこと」が上位にあげられる。訪日外国人観光客にとって「日本食・お酒を楽しむこと」は体験したい魅力のひとつであることがわかる。しかし2020年は新型コロナウイルス感染症の影響により、訪日外国人観光客数が大幅に減少。一方日本人観光客にとっては近隣の観光を楽しみ、日本の魅力を再認識する機会でもあった。

今回の調査で、日本人観光客はもちろん、再び訪れることが期待される訪日外国人観光客に対して、新しいコンテンツになる可能性がある「酒蔵ツーリズム」について、現状と現在抱えている課題を明らかにする。

## 2. 調査概要

### (1) 調査主体

日本酒蔵ツーリズム推進協議会

(事務局：公益社団法人日本観光振興協会 地域ブランド創造)

### (2) 調査担当

株式会社インテージリサーチ

### (3) 調査協力

日本酒造組合中央会

### (4) 調査期間

令和2年11月16日(月)～令和2年12月25日(金)

### (5) 調査対象

以下3つの団体に所属している団体・地域・企業等が対象。ただし、重複して所属している団体は、「①日本酒蔵ツーリズム推進協議会」から外している。

① 日本酒蔵ツーリズム推進協議会会員 (45 団体)

② 公益社団法人日本観光振興協会会員 (地方自治体・観光協会等 369 団体)

③ 日本酒造組合中央会 所属酒蔵 (1,691 団体)

### (6) 調査手法

インターネット調査

なお日本酒造組合中央会所属酒蔵のみ、一部 FAX 回答

(7) 調査項目

以下、一部抜粋。全体は参考資料参照

- ・ 酒蔵・酒造関係者を対象とした調査
  - ・ 現状の取り組み
  - ・ 今後の取り組み
  - ・ 「日本酒蔵ツーリズム推進協議会」について
  - ・ 「高濃度エタノール製品」の製造と販売について
- ・ 地方自治体・観光協会等を対象とした調査
  - ・ 現状の取り組み
  - ・ 今後の取り組み
  - ・ 「日本酒蔵ツーリズム推進協議会」について
- ・ 民間企業を対象とした調査
  - ・ 現状の取り組み
  - ・ 今後の取り組み
  - ・ 「日本酒蔵ツーリズム推進協議会」について

(8) 回収率

有効回収数 944 (回答率 45%)

- |               |                     |
|---------------|---------------------|
| ① 酒蔵・酒造関係者    | 回答数：779 件、回答率：45.8% |
| ② 地方自治体・観光協会等 | 回答数：145 件、回答率：38.8% |
| ③ 民間企業        | 回答数：20 件、回答率：58.8%  |

### 3. 調査結果

本調査は、「酒蔵・酒造関係者」「地方自治体・観光協会等」「民間企業」の3つに対象を分け、各々異なる調査項目により実施。各調査の調査票は参考資料を参照。

#### (1) 調査結果（ポイント）

##### ① 酒蔵・酒造関係者を対象とした調査

##### 酒蔵・酒造関係者以外との連携状況

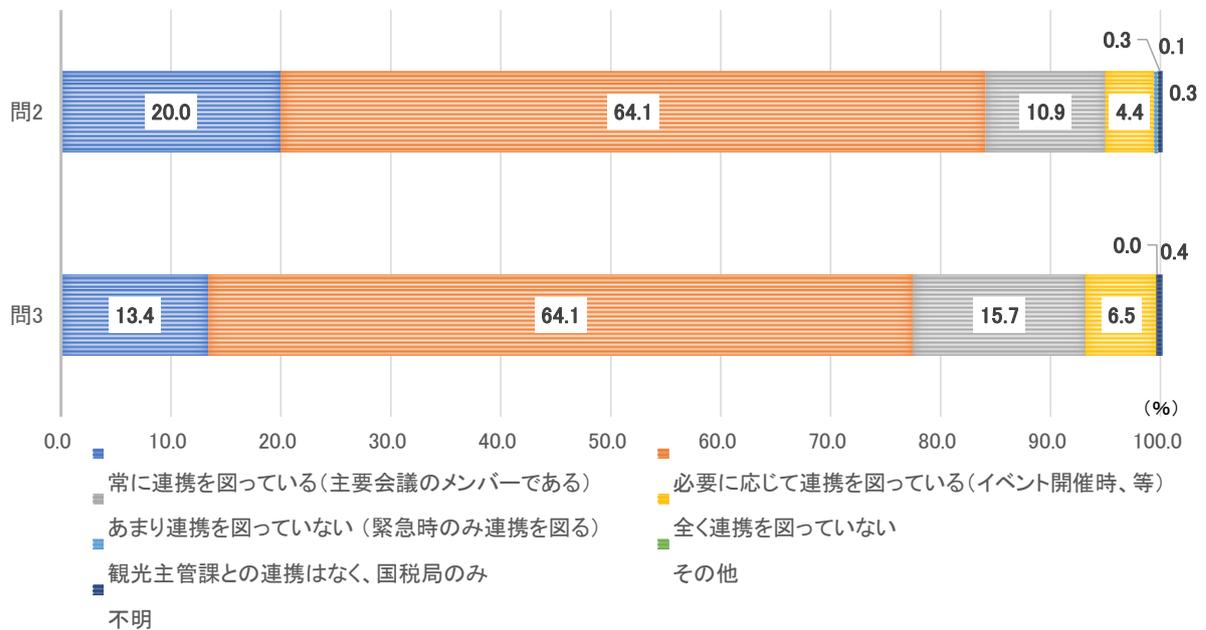
行政・観光関係事業者との連携はあるものの、必要に応じて適宜連携を図っていることがわかった。（図 1-1）

また「全く連携を図っていない」は、行政（観光産業主幹部署）は 4.4%、観光協会・観光産業に携わる民間企業や団体は 6.5%であった。

問 2：御社が観光産業に取り組むにあたり、行政（観光産業主幹部署）や観光協会・観光連盟などと、どのくらい連携を図っていますか。

問 3：御社が観光産業に取り組むにあたり、観光協会・観光産業に携わる民間企業（宿泊施設等）や団体（酒造組合は除く）は、どのくらい連携を図っていますか。

図 1-1 酒蔵・酒造関係者以外との連携状況



## オンラインツアーの取り組み状況・導入意向

「新型コロナウイルス感染症の感染対策として取り組んでいること」(図1-2) について「オンライン酒蔵見学を実施」している酒蔵は13%であった。

「オンラインツアー等を取り入れてみたいと思うか」(図1-3) について、「積極的に取り組みたい」が10.5%、「機会があれば取り組んでみたい(自社の若手中心で行うのであれば取り組んでも良い)」は25.3%、「既に取り組んでいる」は3.7%と、全体の約4割だった。

一方で「どちらともいえない」は34.1%と最も高く、「あまり取り組みたくない」は16.8%、「取り組みたくない」は8.5%と、約6割は積極的ではなく、オンラインを取り入れることはハードルが高いことが伺える。(図1-3)

図1-2 新型コロナウイルス感染症への対応

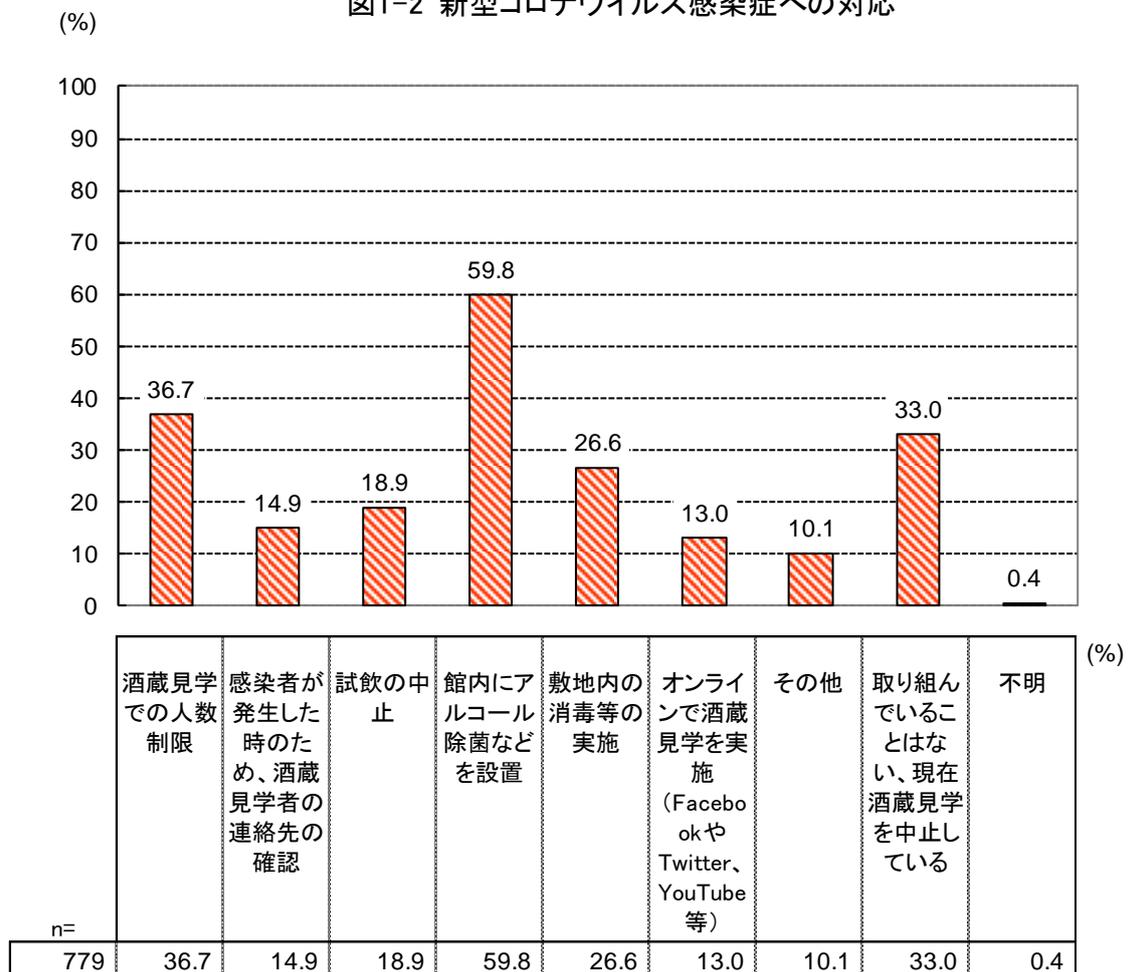
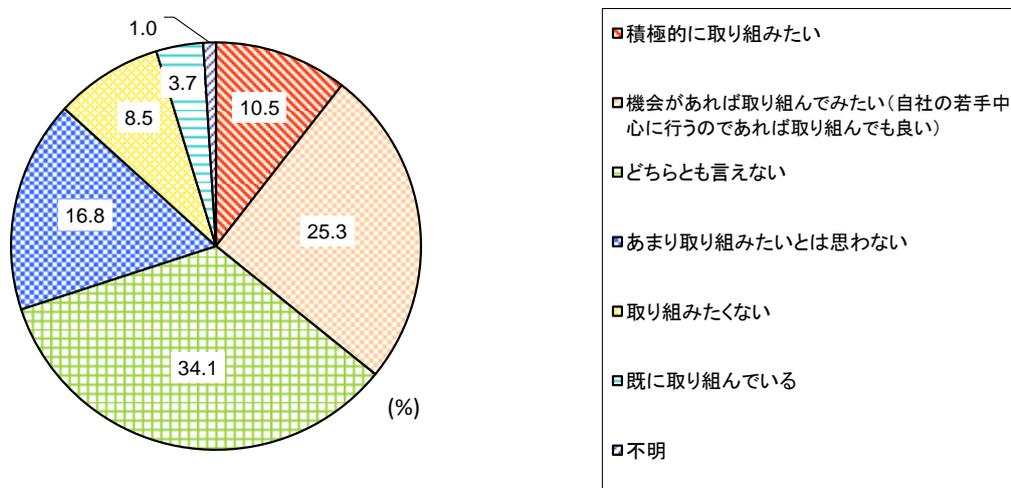


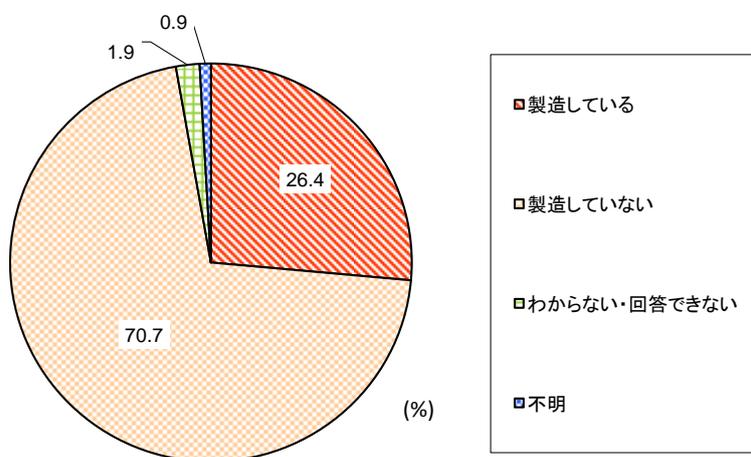
図1-3 オンラインツアーの導入意向



### 高濃度エタノール代替品の製造状況

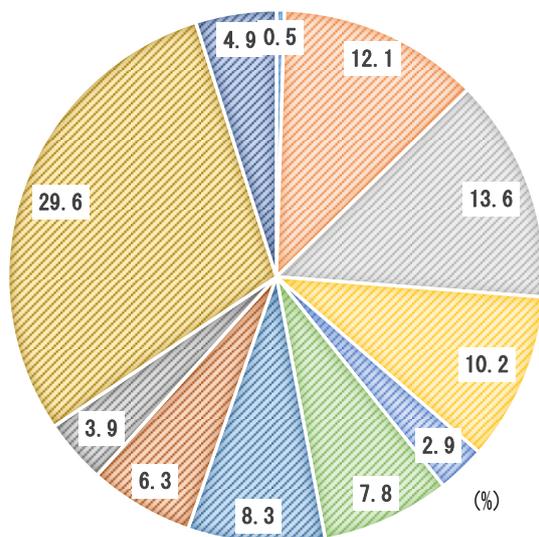
高濃度エタノール製品の製造状況について、図 1-4 より 26.4%が製造していることがわかる。

図1-4 高濃度エタノール製品の製造状況



エリア別でみると、最も製造が多いエリアは九州で 29.6%、次いで関東が 13.6%だった。また最も製造していないエリアは北海道で 0.5%だった。(図 1-5 エリア別製造状況)

図1-5 エリア別製造状況



- 北海道
- 東北（青森県・秋田県・岩手県・宮城県・山形県・福島県）
- 関東（群馬県・栃木県・茨城県・東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県）
- 甲信越（山梨県・長野県・新潟県）
- 北陸（富山県・石川県・福井県）
- 東海（静岡県・愛知県・岐阜県・三重県）
- 関西（滋賀県・京都府・大阪府・兵庫県・和歌山県・奈良県）
- 中国（岡山県・広島県・鳥取県・島根県・山口県）
- 四国（香川県・徳島県・愛媛県・高知県）
- 九州（福岡県・佐賀県・長崎県・大分県・熊本県・宮崎県・鹿児島県）
- 沖縄

② 地方自治体・観光協会等を対象とした調査

観光客の酒蔵への受け入れ

地方自治体・観光協会等は 99.3%が「ぜひ来てほしい」「来てほしい」と回答（図 2-1）。

一方で、酒蔵・酒造関係者は 66.3%が「ぜひ来てほしい」「来てほしい」と回答（図 2-2）。観光客の受入に対して、温度差があることがわかる。

図2-1 観光客の受入れ意向

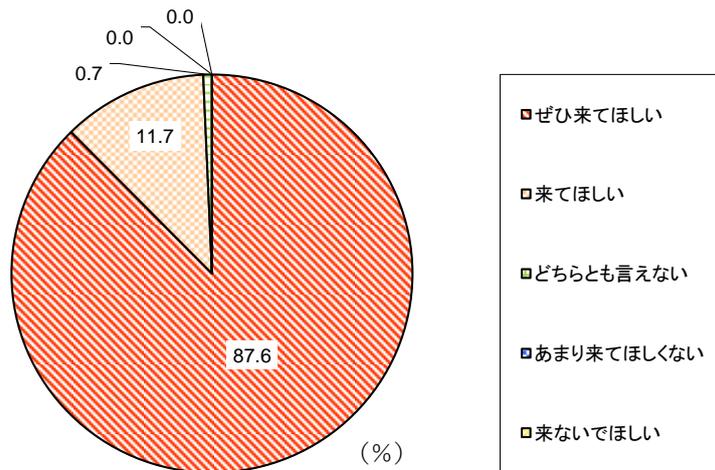
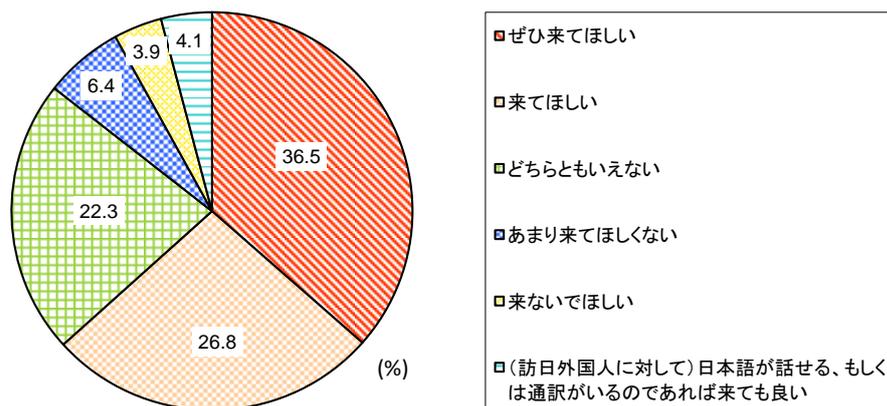


図2-2 観光客の受入れ意向



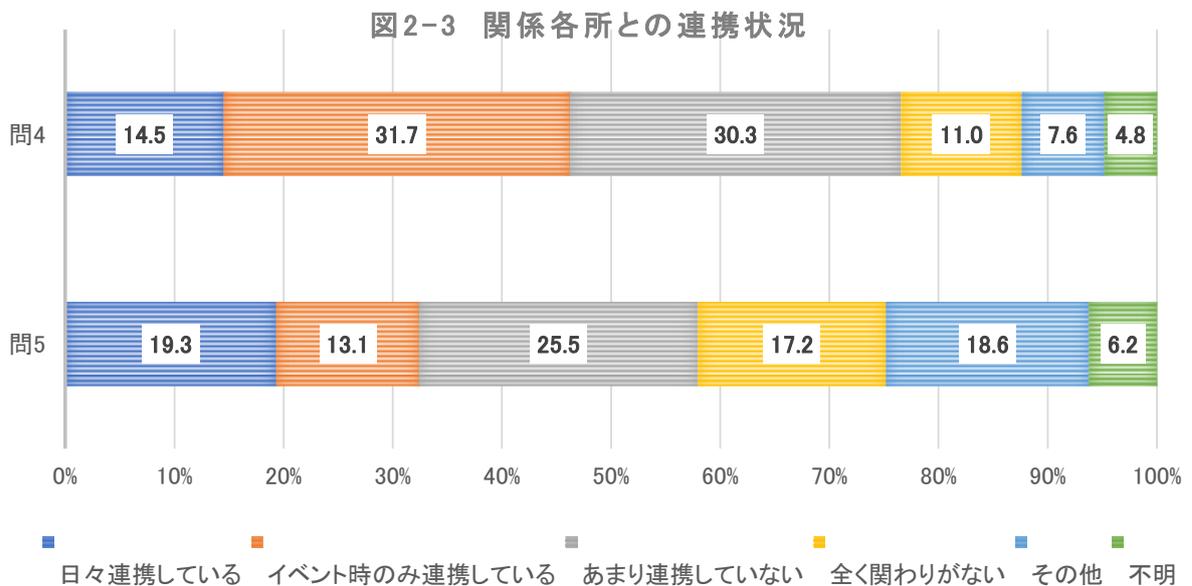
### 関係各所との連携状況

問4より、行政（観光主幹部署）と酒蔵・酒造組合等では、連携はあるものの、必要に応じて適宜連携を図っていることがわかる。（図2-3）

問5より、行政（観光主幹部署）と行政（酒蔵主管部署）との連携について、「日々連携している」「イベント時のみ連携している」が32.4%と、酒蔵・酒造組合等より連携が低いことがわかる。「あまり連携していない」「全く関わりがない」が42.7%と高いことがわかる（図2-3）。

問4：行政（観光主管課）と酒蔵・酒造組合等との関わり・連携はありますか。

問5：行政（観光主幹課）と行政（酒蔵担当主管課）との関わり・連携はありますか。



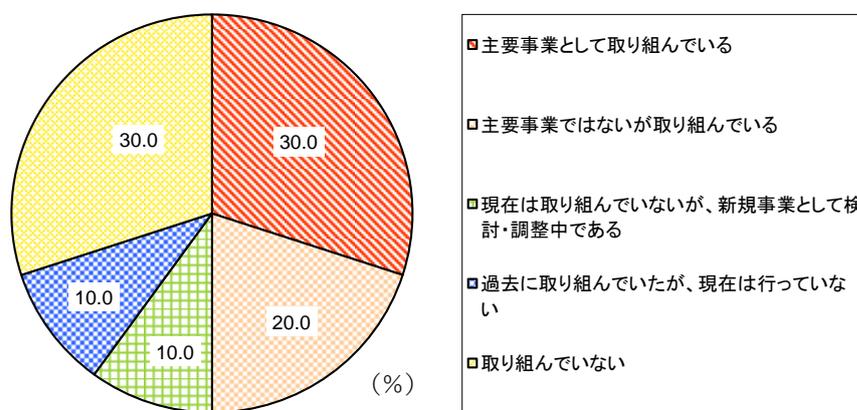
③ 民間企業を対象とした調査

酒蔵・酒造に関する事業展開

現在の「酒蔵・酒造に関する事業」の取り組み状況について、50%が「主要事業として取り組んでいる」「主要事業ではないが取り組んでいる」と回答（図3-1）。

「現在は取り組んでいないが、新規事業として検討・調整中」と回答した10%のうち、半数は「機会があれば展開していきたい」と積極的であった。

図3-1 酒蔵・酒造に関する事業への取組



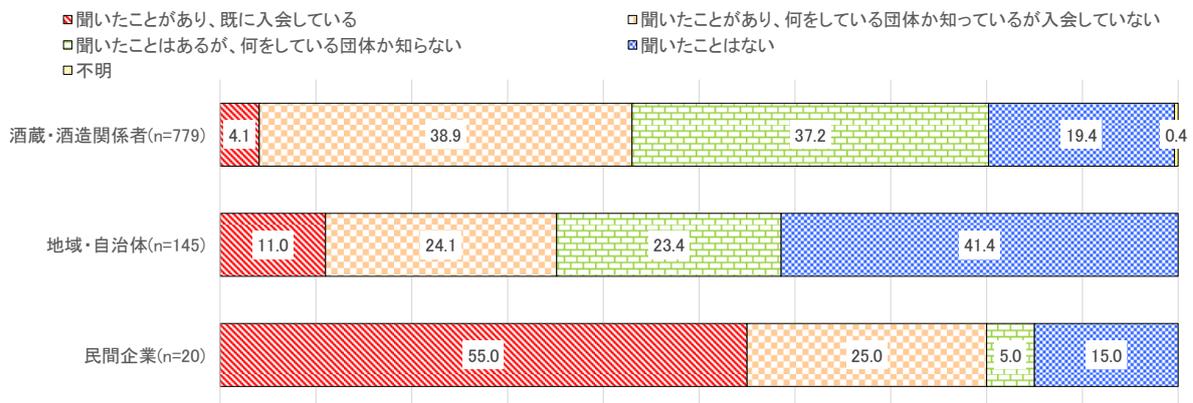
#### ④ 共通項目

##### 「日本酒蔵ツーリズム推進協議会」認知度

「日本酒蔵ツーリズム推進協議会」の認知度を尋ねたところ、「聞いたことがあり入会している」は酒蔵・酒造関係者は 4.1%と最も低く、民間企業が 56.0%と最も高いことがわかった。

また「聞いたことがあり、何をしている団体が知っているが入会していない」は、酒蔵・酒造関係者は 38.9%と最も高く、次いで民間企業が 25.0%、地域・自治体が 24.1%であった。(図 4-1)

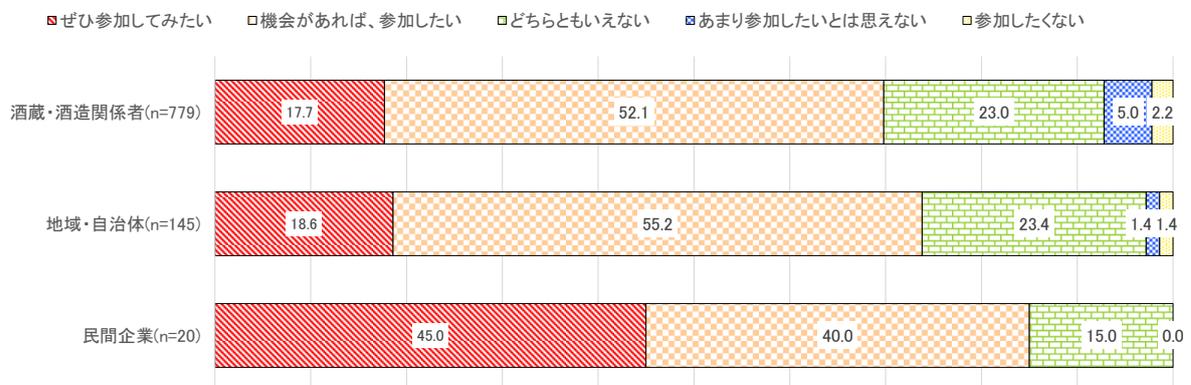
図4-1 日本酒蔵ツーリズム推進協議会の認知度



##### 「酒蔵ツーリズム」への参加意欲

「ぜひ参加してみたい」「機会があれば参加してみたい」の合算で見ると、酒蔵・酒造関係者は 69.8%、地域・自治体は 73.8%、民間企業は 85%と「酒蔵ツーリズム」への参加に積極的であることがわかる。(図 4-2)

図4-2 旅行者としての酒蔵ツーリズムへの参加意向

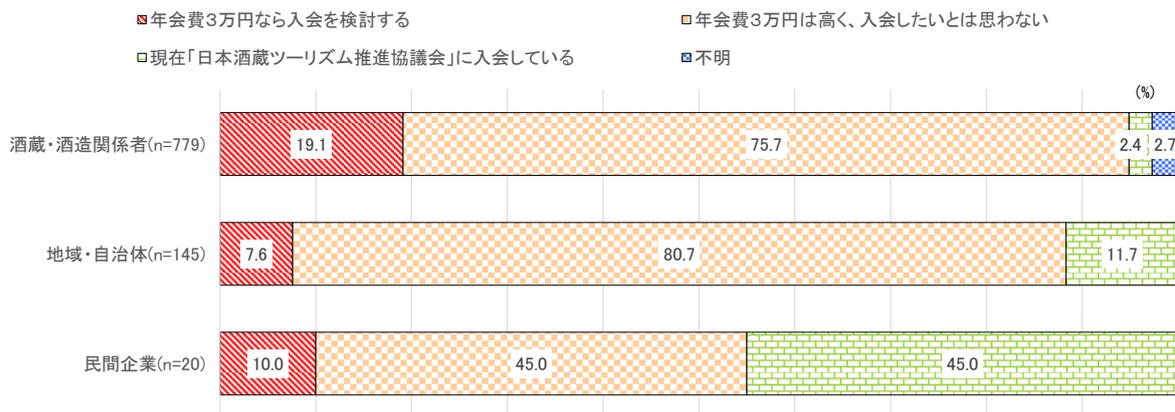


### 「日本酒蔵ツーリズム推進協議会」入会意向

日本酒蔵ツーリズム推進協議会の年会費は、現在3万円<sup>1</sup>である。酒蔵・酒造関係者の19.1%、地域・自治体の7.6%、民間企業の10%は「年会費3万円なら入会を検討する」と回答。

一方で、酒蔵・酒造関係者の75.7%、地域・自治体の80.7%、民間企業の45%は「年会費3万円は高く、入会したいと思わない」との回答しており、「入会を検討する」を大幅に上回っていることがわかる。(図4-3)

図4-3 日本酒蔵ツーリズム推進協議会への入会意向



<sup>1</sup> 参考：<https://www.nihon-kankou.or.jp/sakagura/join/>

ただし公益社団法人日本観光振興協会の正会員は、年会費3万円の負担は任意

## 「日本酒蔵ツーリズム推進協議会」魅力的な事業

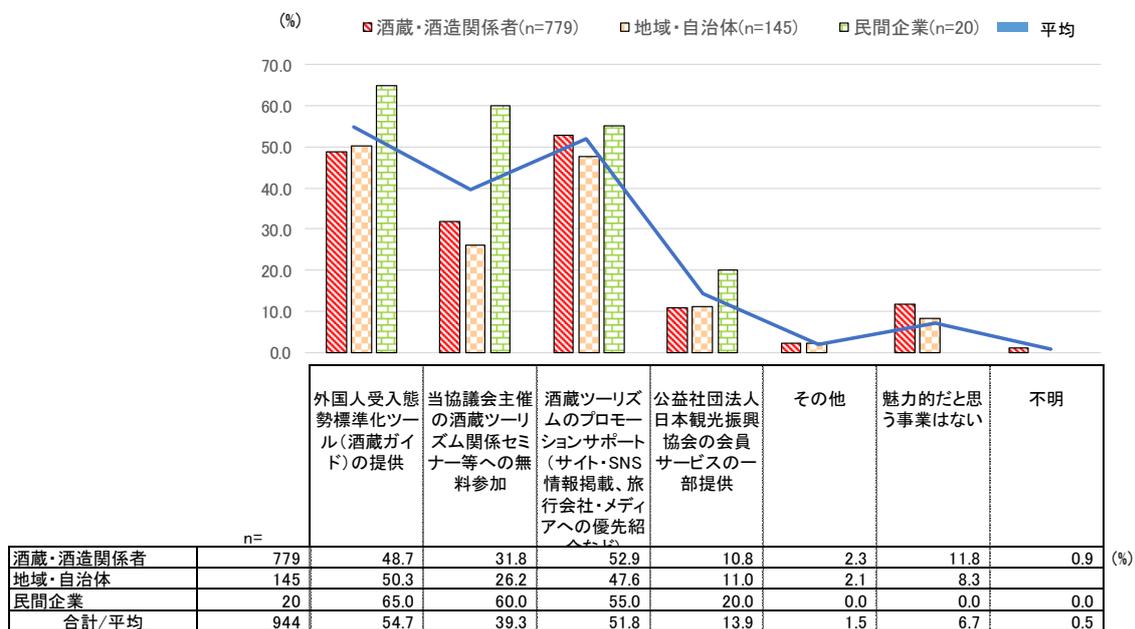
酒蔵・酒造関係者は、「酒蔵ツーリズムのプロモーションサポート」が52.9%と最も高く、次いで「外国人受入態勢標準化ツールの提供」が48.7%であった。

地域・自治体では、「外国人受入態勢標準化ツール<sup>2</sup>の提供」が50.3%と最も高く、次いで「酒蔵ツーリズムのプロモーションサポート」が47.6%であった。

民間企業でも「外国人受入態勢標準化ツールの提供」が65%と最も高く、次いで「当協議会主催の酒蔵ツーリズム関係セミナーへの無料参加」が60%であった。

入会して頂くために、「外国人受入態勢標準化ツールの提供」は、大変魅力があることから、「外国人受入態勢標準化ツールの提供」を取り入れた事業を展開していく必要がある。酒蔵ツーリズムに関するプロモーションの魅力度が高い。引き続き魅力的な事業を展開、磨き上げるとともに、さらに魅力的な事業に取り組んでいく。(図4-4)

図4-4 日本酒蔵ツーリズム推進協議会の魅力的な事業



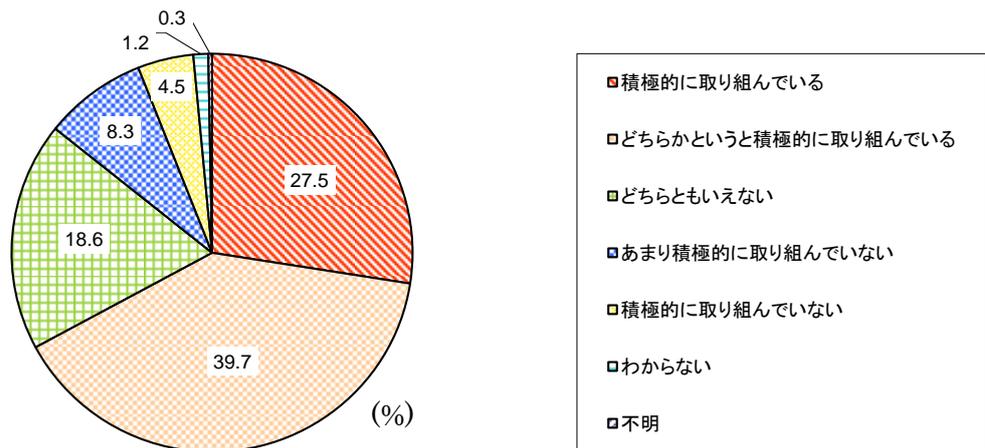
<sup>2</sup> 参考：日本酒蔵ツーリズム推進協議会「外国人受入態勢標準化ツール」  
<https://www.nihon-kankou.or.jp/sakagura/guidetool/>

(2) 酒蔵・酒造関係者を対象とした調査

1: 現状の御社・御社が所属する地域の取り組みについてお尋ねします。

(問1) 御社が所属する地域では、観光産業にどのくらい積極的に取り組んでいますか。  
(必須)

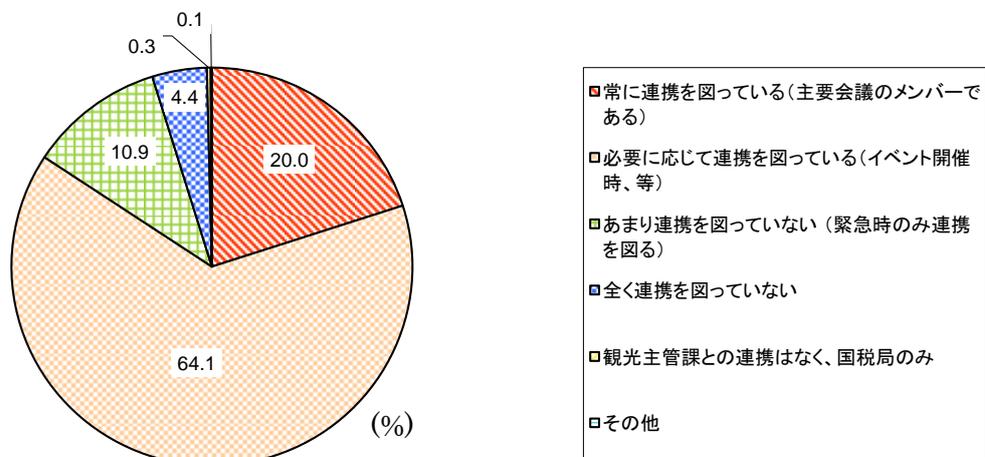
観光産業への地域の取り組み状況



「積極的に取り組んでいる」は 27.5%、「どちらかというと積極的に観光産業に取り組んでいる」は 39.7%であった。

(問2) 御社が観光産業に取り組むにあたり、行政（観光産業主幹部署）や観光協会・観光連盟などと、どのくらい連携を図っていますか。(必須)

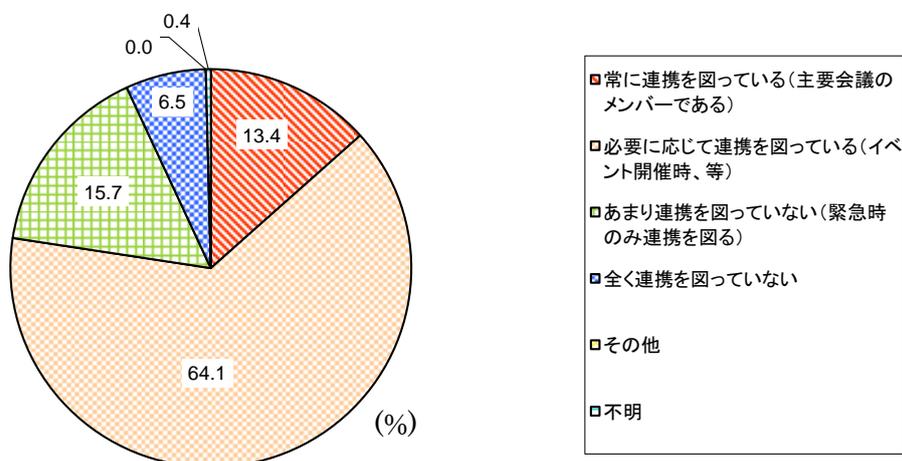
観光産業への取り組み時の行政との連携



「必要に応じて連携を図っている(イベント開催時、等)」が 64.1%と最も多い。

(問3) 御社が観光産業に取り組みにあたり、観光協会・観光産業に携わる民間企業（宿泊施設等）や団体（酒造組合は除く）と、どのくらい連携を図っていますか。  
（必須）

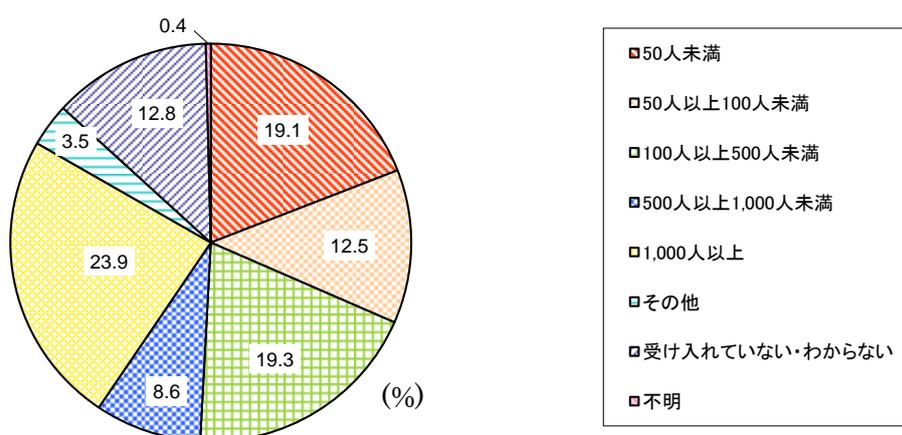
観光産業への取り組み時の民間との連携



「常に連携を図っている（主要会議のメンバーである）」は13.4%で、「必要に応じて連携を図っている（イベント開催時、等）」が最も多く64.1%だった。

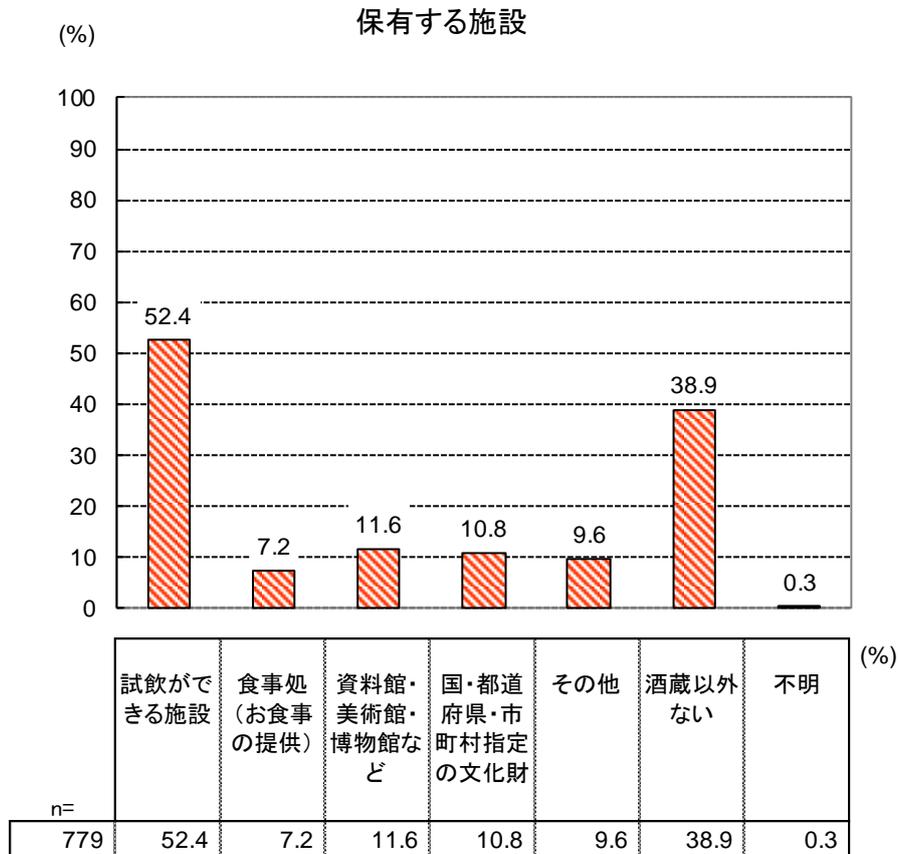
(問4) 令和元年度（2018年4月～2019年3月）において、御社はどのくらい観光客（日本人・訪日外国人観光客合計）を受け入れましたか。（必須）

観光客の受入れ状況



「1,000人以上」が最も多く23.9%。次いで「100人以上500人未満」が19.3%、「50人未満」が19.1%だった。

(問5) 御社の敷地内には酒蔵以外にどのような施設がありますか。(複数回答)

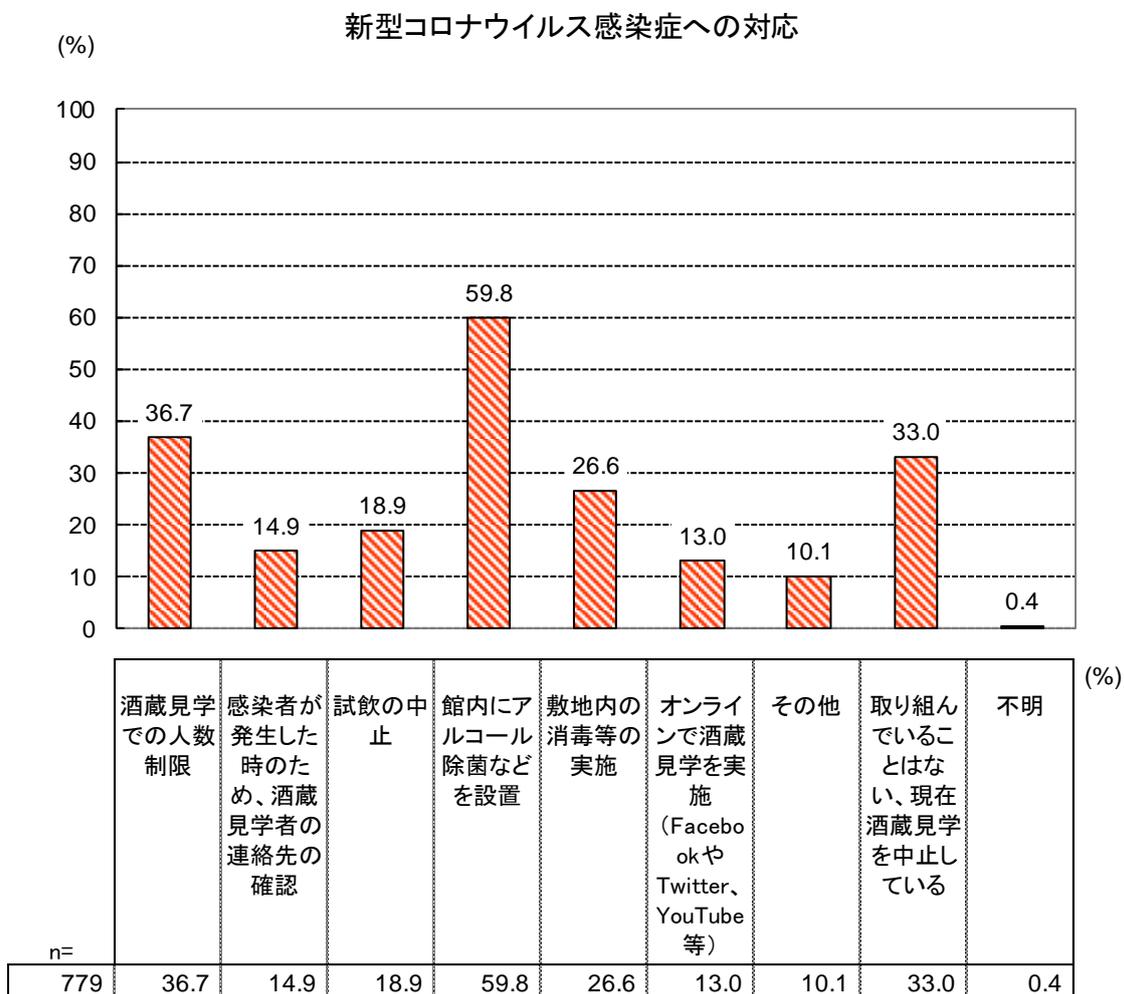


その他 (一部抜粋)

多目的ホール、イベントスペース、日本庭園、体験施設 など

「試飲ができる施設」が 52.4%と最も多い。「食事処(お食事の提供)」は 7.2%と最も少ない。

(問6)御社が酒蔵見学を行う際、新型コロナウイルス感染症対策のため、取り組んでいることはありますか。酒蔵開放やイベント等は含みません。(複数回答)



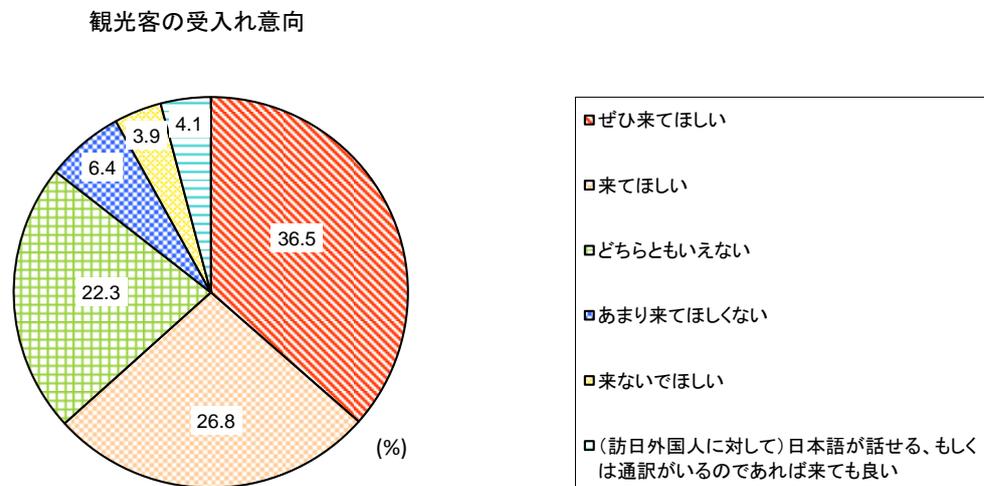
その他 (一部抜粋)

検温、飛沫防止シート・パネルの設置、従業員の検温・体調の記録 など

感染症対策として「館内にアルコール除菌などを設置」が 59.8%で最も多い。

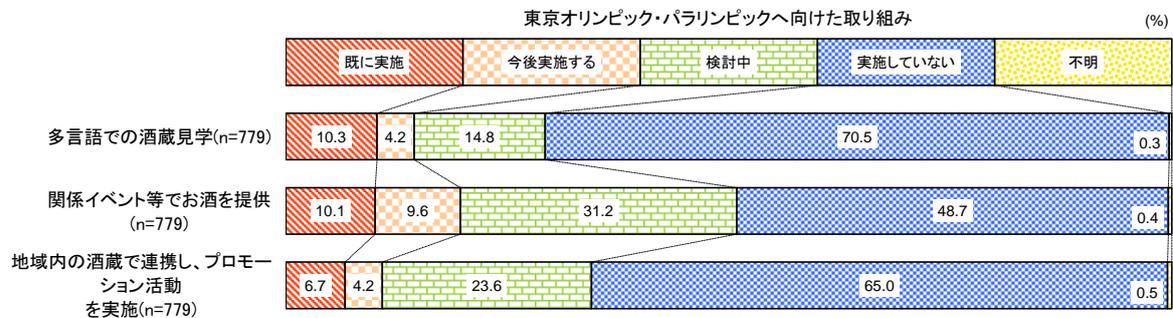
2：今後の取り組みについてお尋ねします。

(問7) 今後、御社に観光客（日本人・訪日外国人観光客）は来てほしいですか。（必須）



6割以上が「ぜひ来てほしい」「来てほしい」と観光客の受け入れに積極的である一方で、約1割は「あまり来てほしくない」「来ないでほしい」と回答。

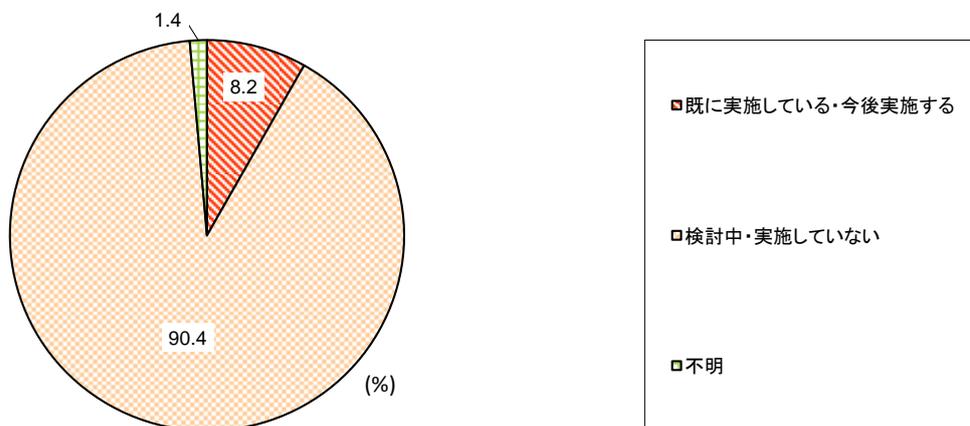
(問8) 2021年に開催を予定している「東京オリンピック・パラリンピック」に向けて、取り組んでいること、今後取り組む予定があれば教えてください。（必須）



「多言語での酒蔵」「関係イベント等でのお酒の提供」「地域内の酒蔵で連携しプロモーションを実施」の全ての選択肢において、「実施していない」が最も多い。「既に実施」では、「多言語での酒蔵」「関係イベント等でのお酒の提供」がそれぞれ10.3%、10.1%だった。

(問9) 問8で「多言語での酒蔵見学」「関係イベント等でお酒を提供」「地域内の酒蔵で連携しプロモーション活動を実施」の他に、東京オリンピック・パラリンピックに向けて取り組んでいることはありますか。

東京オリンピック・パラリンピックへ向けた前問以外の取り組み

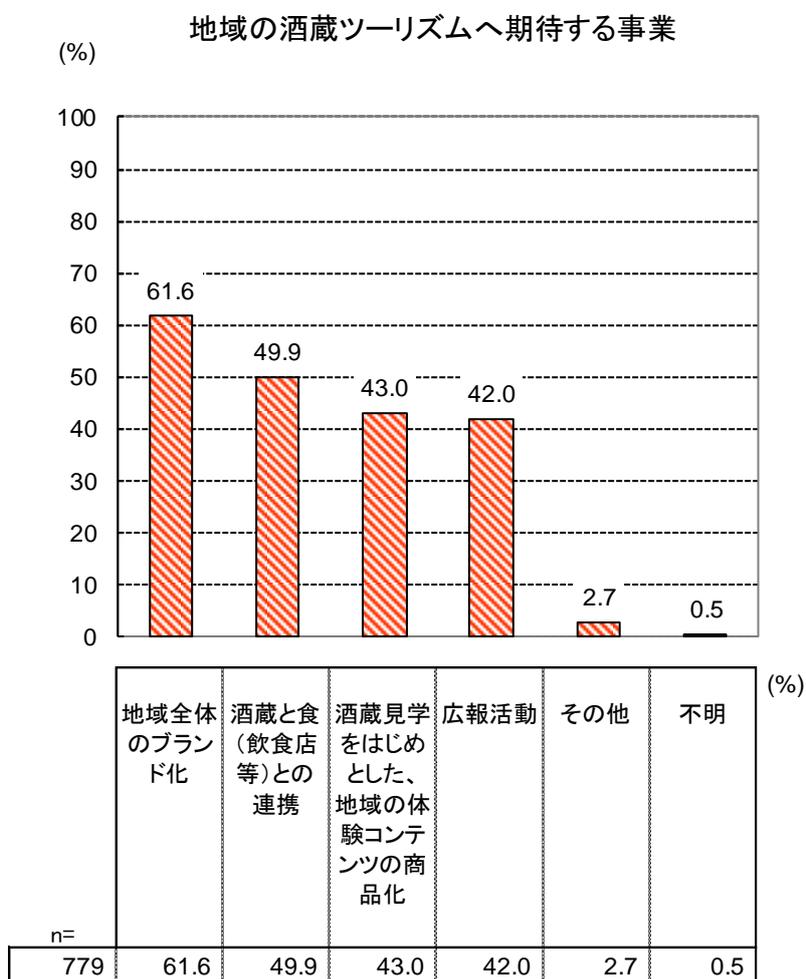


その他実施事業（一部抜粋）

オンラインでの酒蔵見学、他社との連携、  
パンフレット・動画・ホームページの多言語化 など

「既に実施している・今後実施する」は 8.2%と多くないが、訪日外国人観光客の受け入れに向けて、多言語整備に取り組んでいる酒蔵が見受けられる。

(問10) 御社が帰属する地域が「酒蔵ツーリズム」に積極的に取り組むこととなった場合、どういった事業に積極的に取り組んでほしいですか。(必須・複数回答)

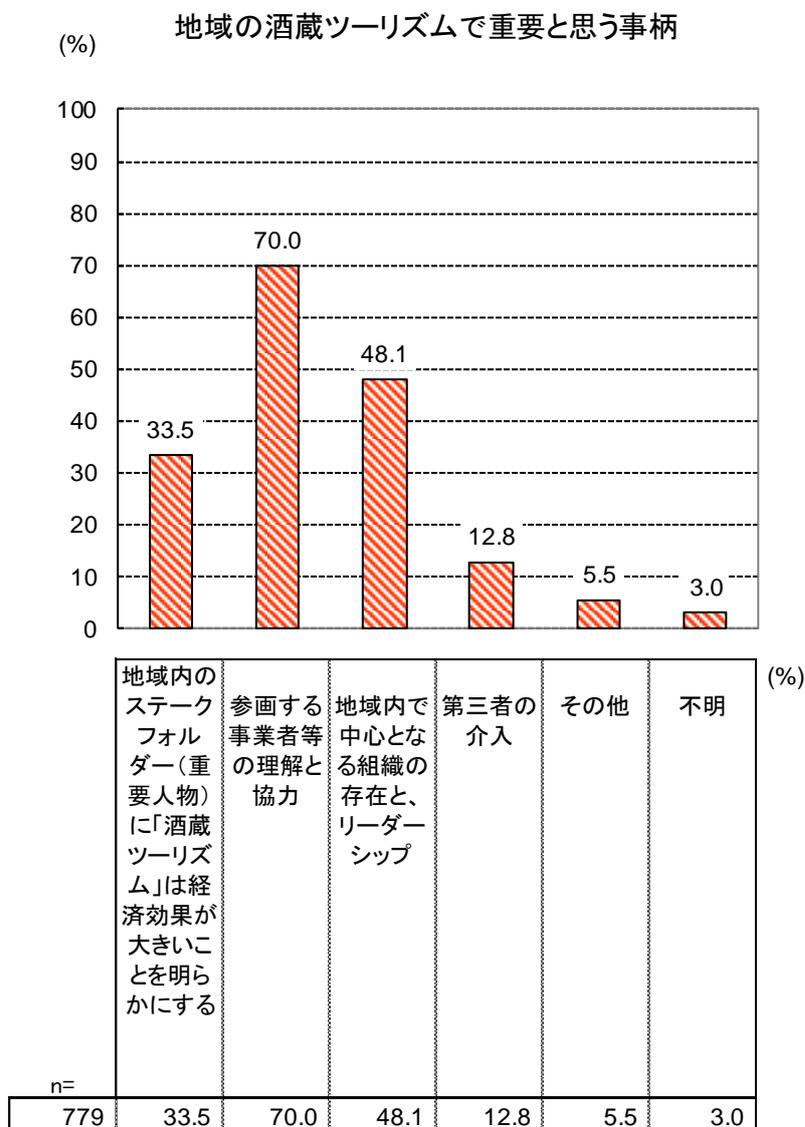


その他 (一部抜粋)

二次交通事業・大手製造業との連携 など

61.6%が「地域全体のブランド化」に積極的に取り組んでほしいと回答。

(問11) 地域全体で「酒蔵ツーリズム」に取り組むために、何が重要だと考えますか。  
(複数回答)



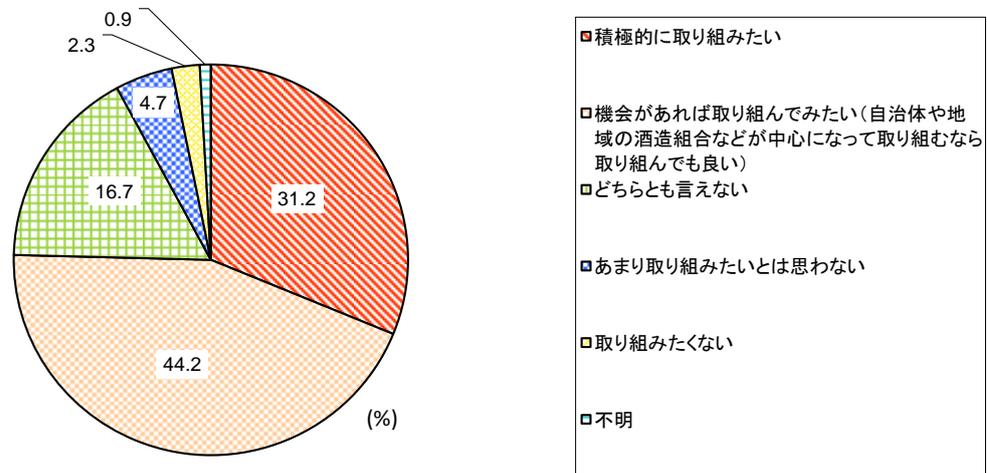
その他 (一部抜粋)

予算ありきの事業にしないこと、移動手段の整備  
行政 (都道府県・市町村) の協力・地元住民の理解と協力 など

70.0%が「参画する事業者の理解と協力」が重要だと回答。

(問12) 今後、行政から「酒蔵ツーリズム」を取り組むための協力依頼があった場合、どの程度協力・参画したいと考えますか。

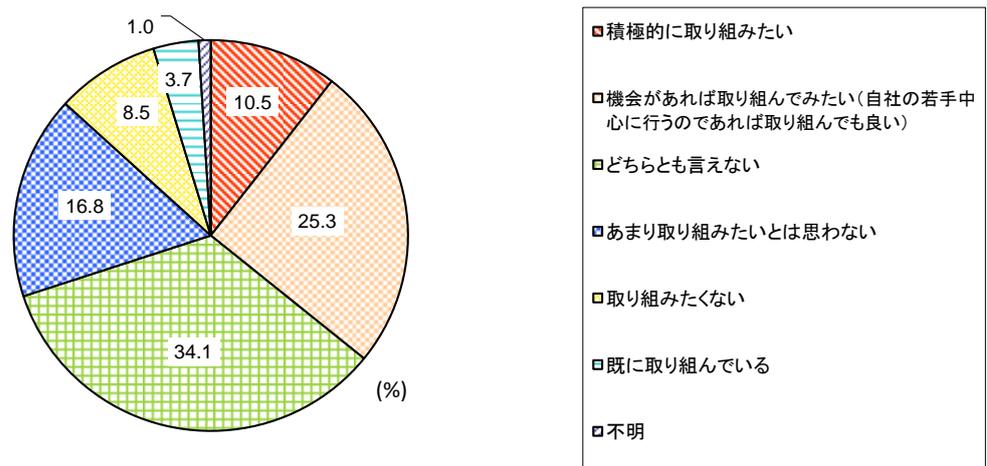
酒蔵ツーリズムへの協力・参加意向



31.2%が「積極的に取り組みたい」、44.2%が「機会があれば取り組んでみたい」と回答。

(問13) 新型コロナウイルス感染症の影響により、オンラインツアー等を実施している団体・企業がありますが、今後取り入れてみたいと思いますか。

オンラインツアーの導入意向

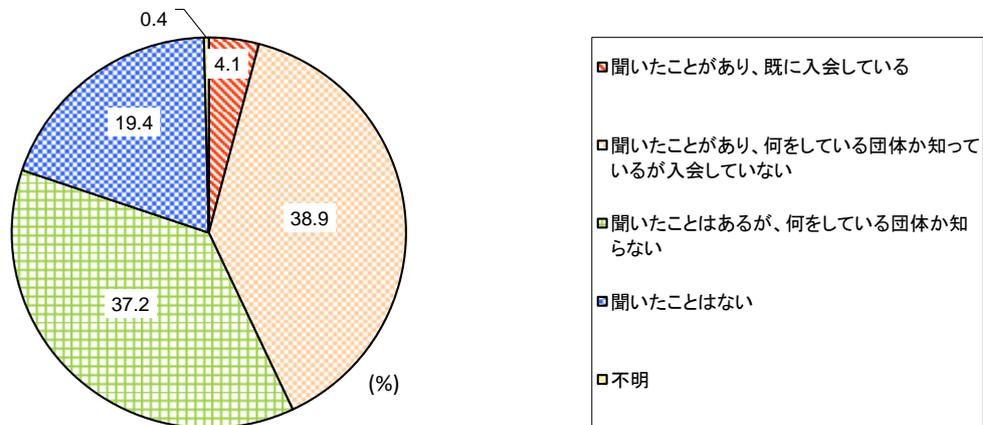


10.5%が「積極的に取り組んでみたい」、25.3%が「機会があれば取り組んでみたい」と回答。「既に取り組んでいる」は3.7%だった。

3:「日本酒蔵ツーリズム推進協議会」についてお尋ねします。

(問14) 「日本酒蔵ツーリズム推進協議会」は聞いたことがありますか。(必須)

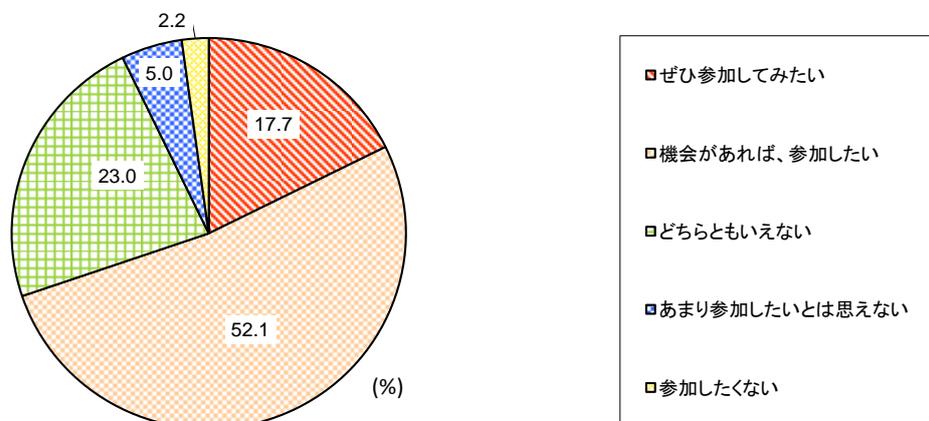
日本酒蔵ツーリズム推進協議会の認知度



「聞いたことがあります既に入会している」は4.1%に対し、「聞いたことがない」が19.4%であった。

(問15) 「酒蔵ツーリズム」とは、「日本酒・焼酎・泡盛・ワイン・ビールなどの酒蔵を巡り、地域の方々と触れ合い、お酒を味わう。そして、そのお酒が生まれた土地を散策しながら、その土地ならではの郷土料理や伝統文化を楽しむ旅行」ことです。ひとりの旅行者として、「酒蔵ツーリズム」に参加してみたいと思えますか。(必須)

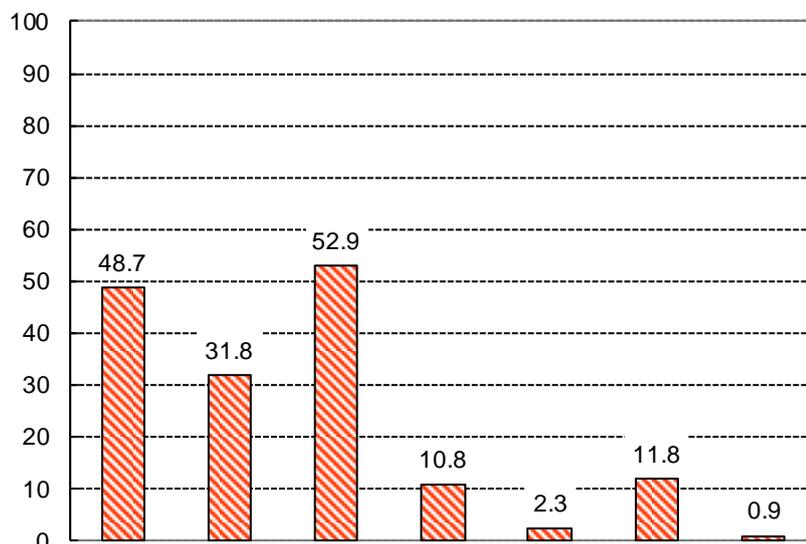
旅行者としての酒蔵ツーリズムへの参加意向



約7割が「ぜひ参加してみたい」「機会があれば参加したい」と回答。

(問16) 「日本酒蔵ツーリズム推進協議会」は、以下のとおり事業を展開しています。  
魅力的だと思う事業をお教えてください。(必須・複数回答)

日本酒蔵ツーリズム推進協議会の魅力的な事業



	外国人受入態勢標準化ツール(酒蔵ガイド)の提供	当協議会主催の酒蔵ツーリズム関係セミナー等への無料参加	酒蔵ツーリズムのプロモーションサポート (サイト・SNS情報掲載、旅行会社・メディアへの優先紹介など)	公益社団法人日本観光振興協会の会員サービスの一部提供	その他	魅力的だと思う事業はない	不明	
n=	779	48.7	31.8	52.9	10.8	2.3	11.8	0.9

その他 (一部抜粋)

ツーリズム EXPO ジャパンへの出展料金の減額もしくは無料  
他にないテーマの研修 など

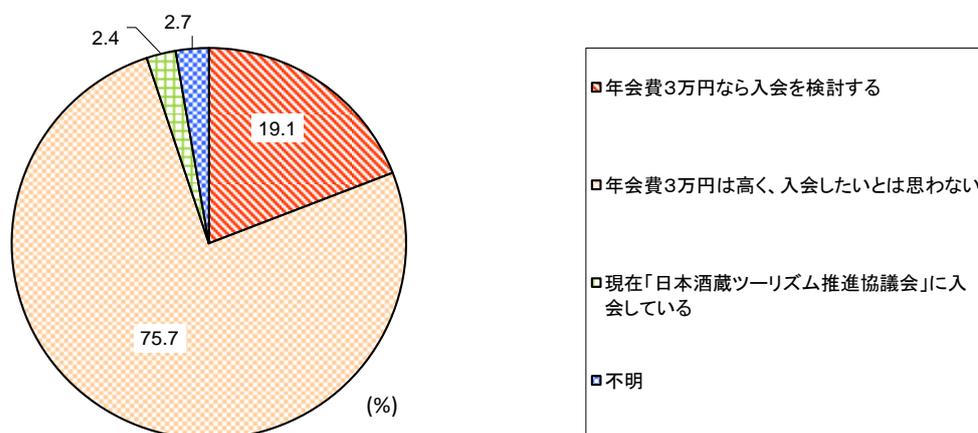
「酒蔵ツーリズムのプロモーションサポート (サイト・SNS 情報記載、旅行会社・メディアへの優先紹介など)」が 52.9%と最も高い。

※参考「外国人受入態勢標準化ツール (酒蔵ガイド)」

<https://www.nihon-kankou.or.jp/sakagura/guidetool/>

(問17) 「日本酒蔵ツーリズム推進協議会」の年会費は3万円です（公益社団法人日本観光振興協会の正会員は年会費3万円の負担は任意）。入会したいと感じますか。（必須）

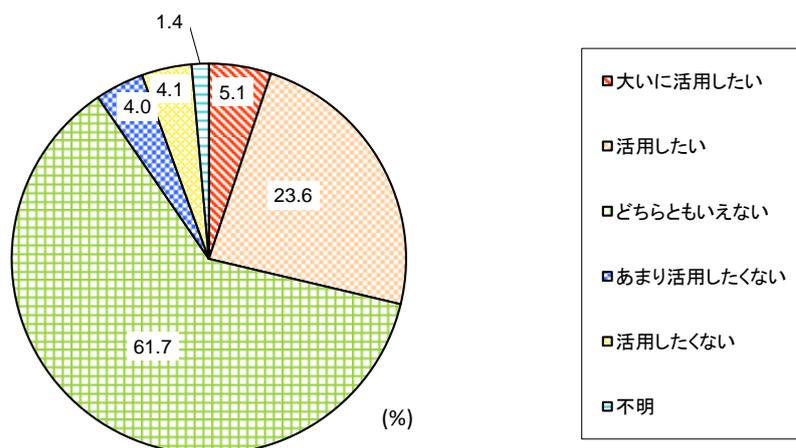
日本酒蔵ツーリズム推進協議会への入会意向



「年会費3万円は高く、入会したいとは思わない」が75.7%と最も高い。

(問18) 日本酒蔵ツーリズム推進協議会は「日本酒蔵ツーリズム推進協議会ホームページ」をリニューアルしました（令和2年3月下旬）。このホームページ<sup>3</sup>を活用したいと思いませんか。

日本酒蔵ツーリズム推進協議会公式HPの活用意向



「どちらともいえない」が61.7%と最も高い。

<sup>3</sup> 日本酒蔵ツーリズム推進協議会 公式ホームページ  
<https://www.nihon-kankou.or.jp/sakagura/>

(問19) その理由について、お教えてください。(回答一部抜粋)

「活用したい」と回答

- ・ 関連する情報を積極的に入手したい
- ・ 広報活動の一環として
- ・ 自分の地域以外の近隣イベント等の紹介もできるから
- ・ 地域の観光情報も含めて、お客様への訴求ツールとして活用できそうに思う
- ・ 他社の取り組み・事例を知ることができるから

「大いに活用したい」と回答

- ・ 一つの酒蔵では情報発信に限界があるから
- ・ 現在のわれわれのファン層とは異なるため
- ・ 研修事業やプロモーション事業、自主事業など多くの可能性を広げる取り組みに共感しており、「1人でも多く」日本酒にふれる機会を創造したいため
- ・ 他の道府県でどのような活用しているか知りたい

「どちらでもいえない」と回答

- ・ アクセス数などの詳細が不明瞭である
- ・ どれだけの効果があるかわからないため
- ・ SNS等の方が利用する人が多く、ホームページ自体を見る機会が少ないと思われる
- ・ コンテンツが少ない
- ・ 露出が増えることが良いが、それに対応できるだけの人材・窓口がない

「あまり活用したくない」と回答

- ・ 必要を感じない
- ・ 自分たちの地域には観光客が来ないため
- ・ 自社の SNS 以外の利用を考えていないため

「活用したくない」と回答

- ・ 観光できる設備がなく、観光客を受け入れていない
- ・ 自社のホームページを活用しているため

(問20) 「日本酒蔵ツーリズム推進協議会」に求める事業等があれば、お知らせください。(回答一部抜粋)

- ・ 酒蔵ツーリズムに関する助成金採択勉強会や成功事例講演等の開催
- ・ 酒蔵ツーリズムに合わせて、助成金等の支援に関するセミナーの開催
- ・ 海外専門バイヤーのツアー誘致、さらに海外での日本酒の知名度向上のための政策
- ・ 海外への情報発信
- ・ より広い範囲での啓発活動
- ・ 観光客のマナー教育
- ・ 酒蔵ツーリズムで成功している地域・酒蔵への視察
- ・ 地域が一体となって取り組む活動
- ・ 地域・行政・観光協会（連盟）との協業
- ・ 個々の酒蔵に沿った具体的施策の相談

(問21) 「日本酒蔵ツーリズム推進協議会」の事務局機能を担っている「公益社団法人日本観光振興協会」に対し、ご意見等ありましたらお知らせください。(回答一部抜粋)

- ・ 日本人の観光客に対する取り組み
- ・ 観光客だけではなく、地元の顧客を捕まえるきっかけ作り
- ・ 認知度・知名度の向上

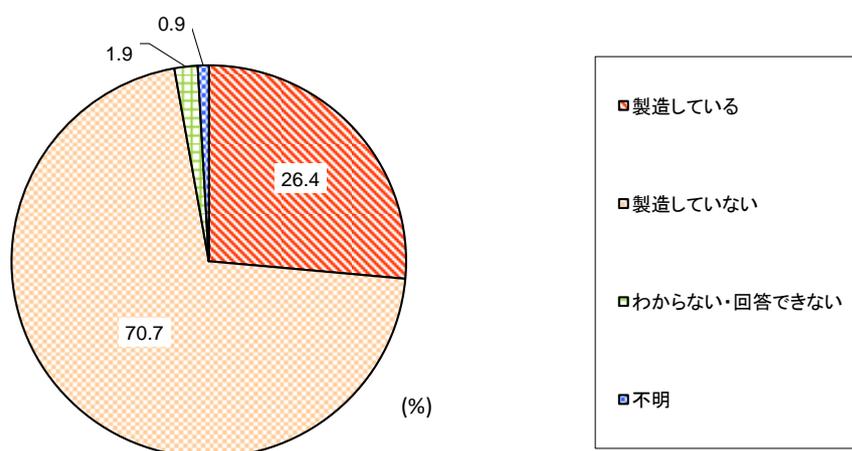
4:「高濃度エタノール製品（消毒用アルコール）<sup>4</sup>」について、お尋ねします。

調査元である日本酒蔵ツーリズム推進協議会は、日本観光振興協会（<https://www.nihon-kankou.or.jp/home/>）が事務局を務めています。このたびネスレ日本株式会社様のご厚意により、コロナ禍で大きな影響を受けた観光関係産業の皆様への支援のため、ご寄付を頂くこととなりました。その寄付金で、日本観光振興協会が全国の観光事業者に向けた「酒蔵で製造したアルコール消毒液」の配布を検討しています。

本調査では、御社における「高濃度エタノール製品（消毒用アルコール代替品）」の販売可否を確認したく、実施するものです。

(問22) 御社では「高濃度エタノール製品」を製造していますか。(必須)

高濃度エタノール製品の製造状況

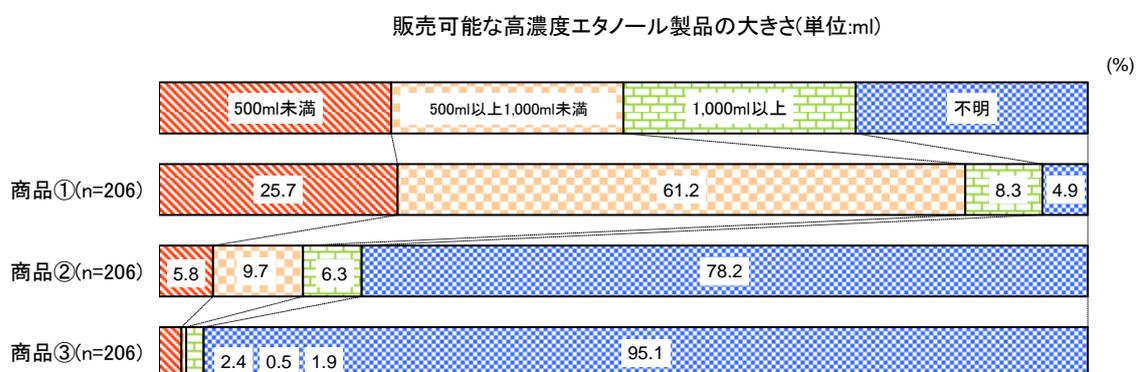


26.4%が「高濃度エタノール製品を製造している」と回答。

<sup>4</sup> 国税庁ホームページ <https://www.nta.go.jp/taxes/sake/kansensho/index.htm>

(問23) 問 22 で「①製造している」と回答された方にお尋ねします。

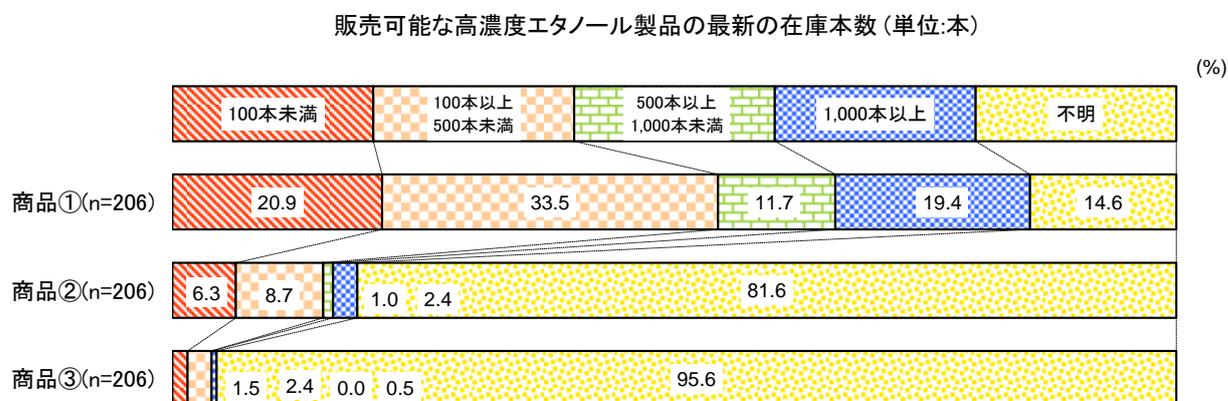
販売可能な商品についてご記入ください。：販売可能な商品の大きさ(単位:ml)



「500ml 以上 1,000ml 未満」が最も多く 61.2%である。

(問24) 問 22 で「①製造している」と回答された方にお尋ねします。

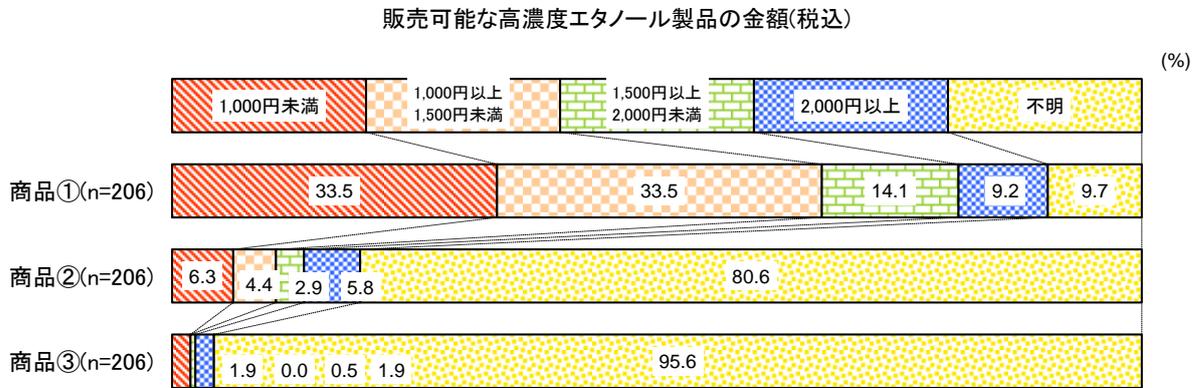
販売可能な商品についてご記入ください。：販売可能な商品の最新の在庫本数(単位:本)



「100 本以上 500 本未満」が 33.5%と最も多い。

(問25) 問 22 で「①製造している」と回答された方にお尋ねします。

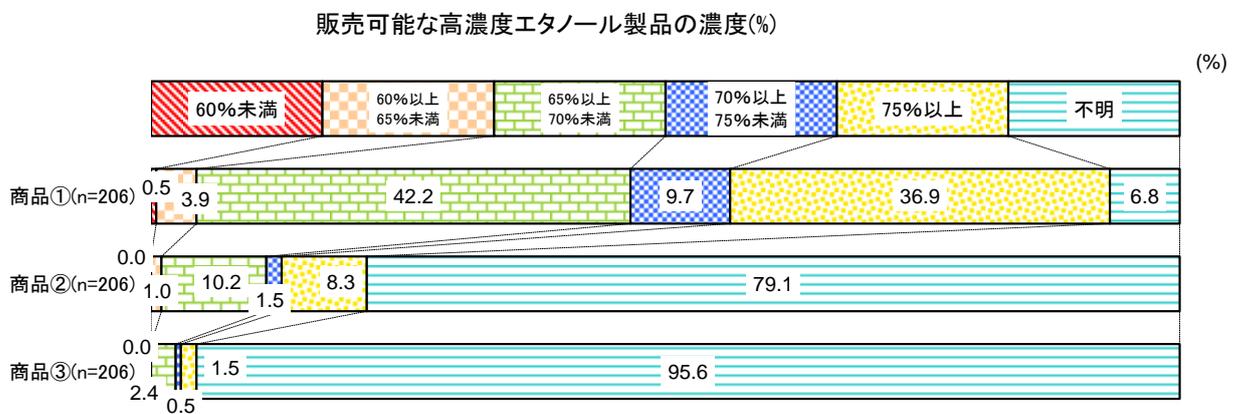
販売可能な商品についてご記入ください。：販売可能な商品の金額(税込)



「1,000 円未満」「1,000 円以上 1,500 円未満」が 33.5%と最も多い。

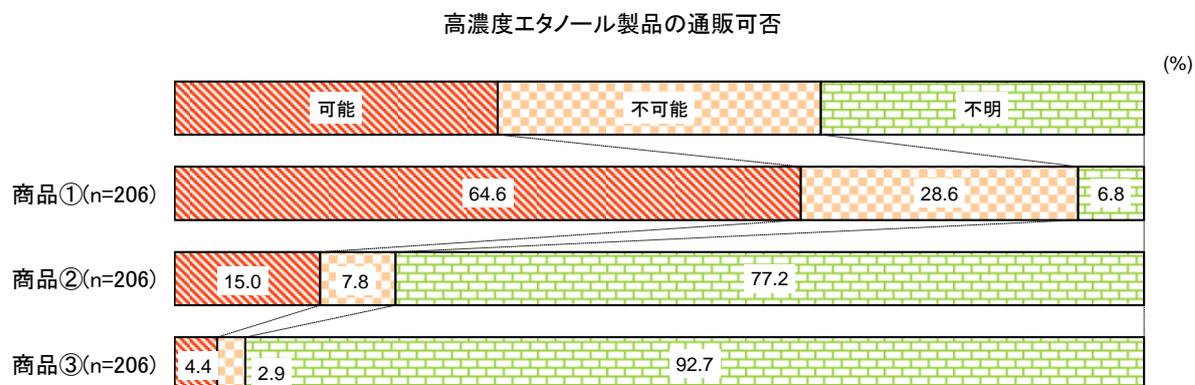
(問26) 問 22 「①製造している」と回答された方にお尋ねします。

販売可能な商品についてご記入ください。：販売可能な商品のアルコール濃度(単位：%)



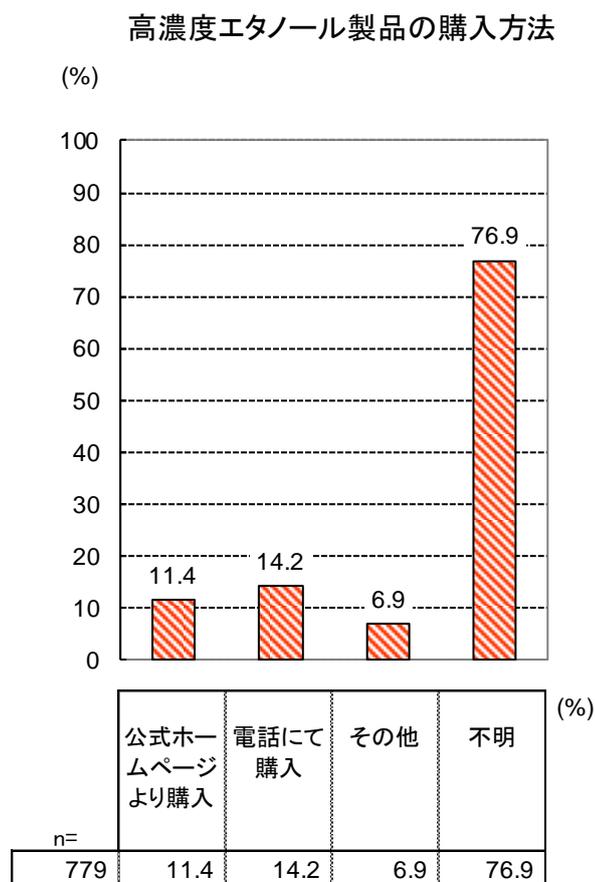
「65%以上 70%未満」が最も多く 42.2%であった。次いで「75%以上」が 36.9%と高い。

(問27) 問 23～問 26 でお答えいただいた 1 つめ～3 つめの商品について、全国の個人への通販の可否をお教えてください。



「販売可能」が 64.6% と最も多い。

(問28) 問 22～問 26 で記入頂きました製品の購入方法について、お教えてください。  
(必須)



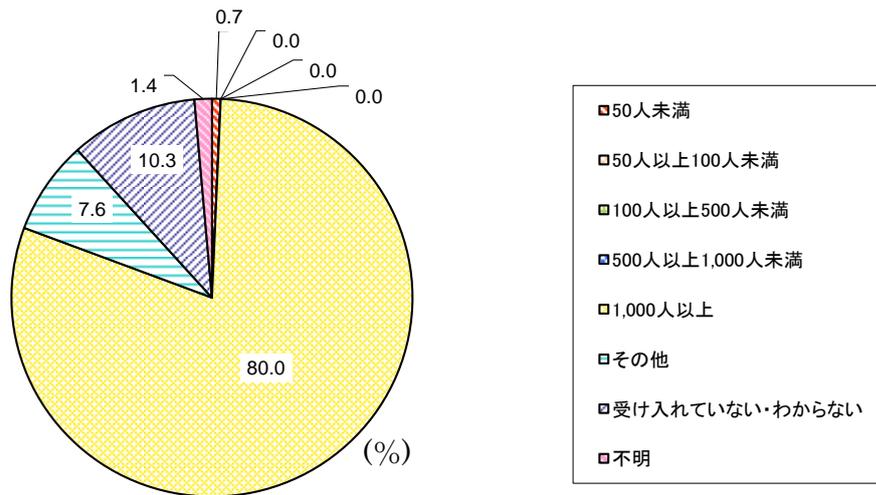
「電話での購入」が 14.2% と最も多い。

(3) 地方自治体・観光協会等を対象とした調査

1: これまでの取り組みについてお尋ねします。

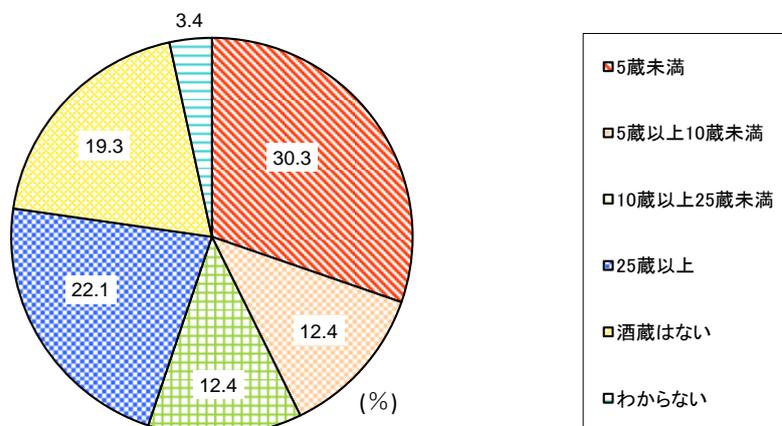
(問1) 令和元年度（2019年4月～2020年3月）の間、地域内に観光客（日本人観光客・訪日外国人観光客合算）はどのくらい訪問されていますか。 ※概算

観光客の来訪状況



(問2) 地域内に酒蔵はどのくらいありますか。(必須)

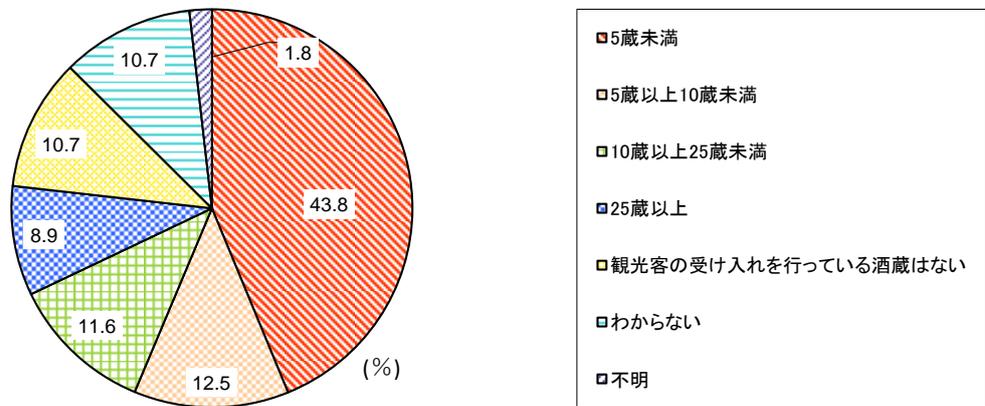
地域内の酒蔵数



「5酒蔵未満」が最も多く 30.3%、次いで「25酒蔵」以上が 22.1%だった。

(問3) 問2で「地域内に酒蔵がある」と回答した方にお尋ねします。  
酒蔵見学など、観光客の受け入れを行っている酒蔵はいくつありますか。

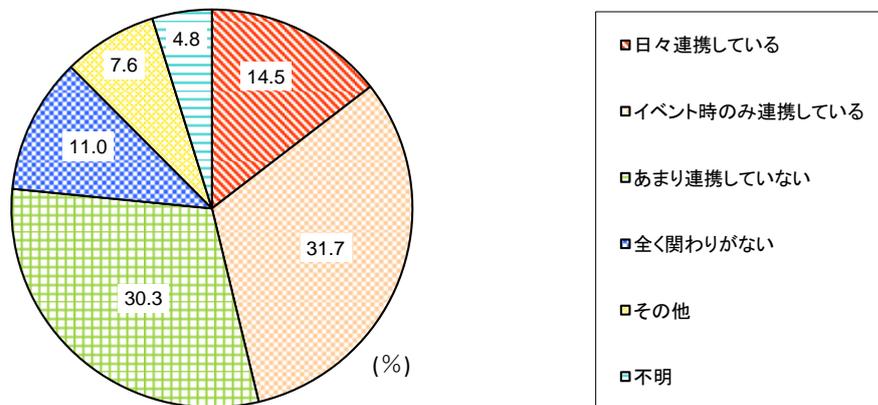
観光客を受け入れている酒蔵数



「5酒蔵未満」が43.8%と最も多い。

(問4) 行政（観光主管課）と酒蔵・酒造組合等との関わり・連携はありますか。

観光産業への取組み時の酒蔵との連携



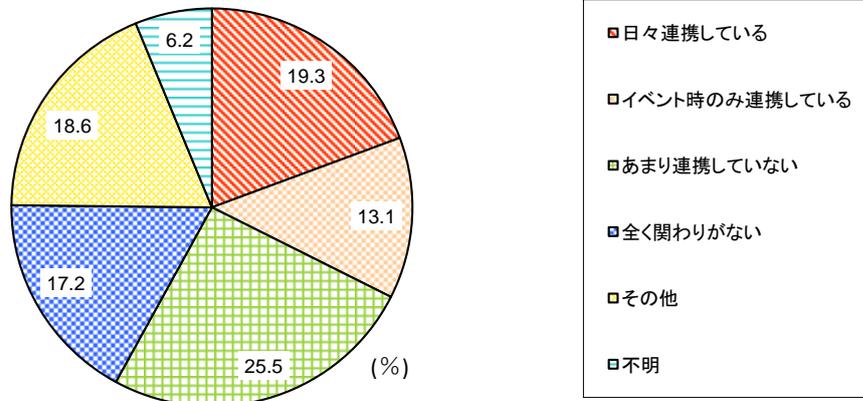
その他（一部抜粋）

- ・ DMO が酒蔵マップ作成やイベント等の際に必要なに応じて連携している
- ・ 他の行政機関との関わりは少ない

「イベント時のみ連携している」が31.7%と最も多く、次いで「あまり連携していない」が30.3%だった。

(問5) 行政（観光主管課）と行政（酒蔵担当主管課）との関わり・連携はありますか。

観光産業への取組み時の担当部門間の連携



その他（一部抜粋）

- ・ 酒蔵担当主幹課がない
- ・ 連携事業の内容により担当部署が異なる

「あまり連携していない」が25.5%と最も多い。

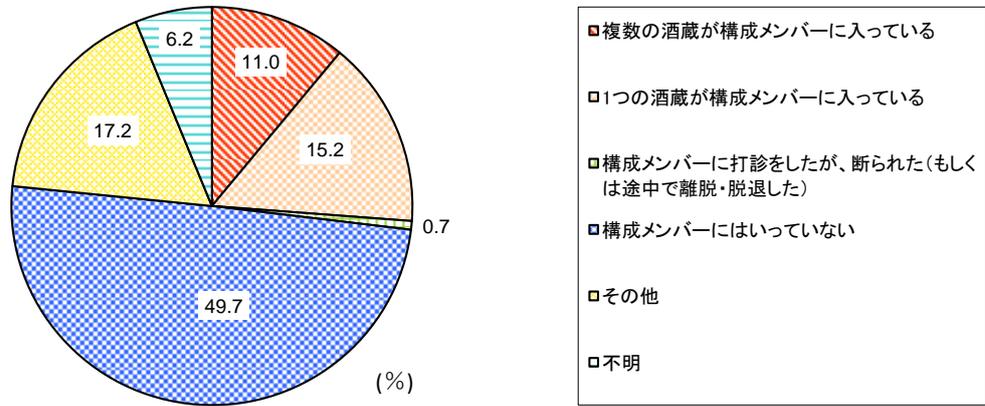
(問6) 現在、観光・酒蔵関係で抱えている課題があればお教えてください。

(自由回答・回答一部抜粋)

- ・ 酒蔵は生産がメインであり、蔵の観光客への開放については菌の混入や繁忙期をどうするかなど具体的に配慮・解決すべき課題もあり、蔵見学だけでなくどう日本酒に親しんでもらう仕立てができるかが課題になっている。
- ・ 酒蔵経営者の高齢化
- ・ 日本酒離れ
- ・ 観光地と酒蔵、酒蔵と酒蔵を結ぶ二次交通が整っていないため、自家用車（レンタカー含む）で周遊することになり、観光客全員が試飲を楽しむことができない。
- ・ 小規模、家族経営の酒蔵が多く、見学のニーズは多いものの受入制限でなかなかご案内出来ない。
- ・ 効果的な情報発信ができていない
- ・ 地域全体で連携して取り組めていない

(問7) 地域内で観光産業について話し合う場（行政主催の会議等）において、酒蔵・酒造関係者は構成メンバーに入っていますか。

観光産業関連会議への酒蔵酒造関係者の参加状況



その他（一部抜粋）

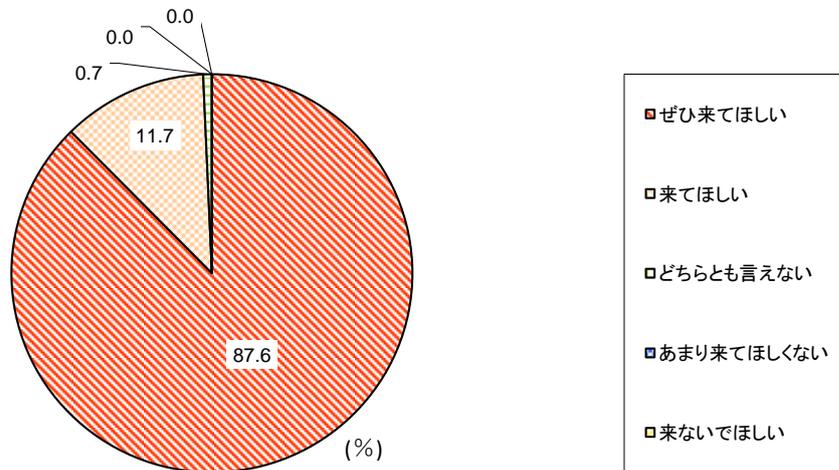
- ・ 酒造組合が参加している
- ・ 飲食・特産品関係の異業者が含まれている

49.7%が「構成メンバーに入っていない」と回答。

2：今後の取り組みについてお尋ねします。

(問8) 地域内に観光客（日本人観光客日本人・訪日外国人観光客）は来てほしいですか。（必須）

観光客の受入れ意向

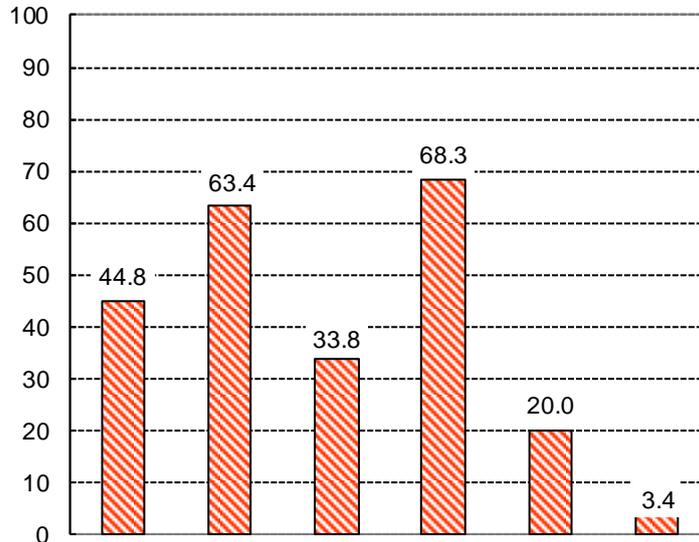


「ぜひ来てほしい」が 87.6%、「来てほしい」が 11.7%と回答。

(問9) 自地域に帰属する酒蔵が「酒蔵ツーリズム」に積極的に取り組むこととなった場合、どういった事業に積極的に取り組んでほしいですか。(必須・複数回答)

地域の酒蔵ツーリズムへ期待する事業

(%)



	地域全体のブランド化	酒蔵と食(飲食店等)との連携	文化財や美術館・博物館、宿泊施設等との連携	酒蔵見学をはじめとした、地域の体験コンテンツの商品化	広報活動	その他	
n=	145	44.8	63.4	33.8	68.3	20.0	3.4

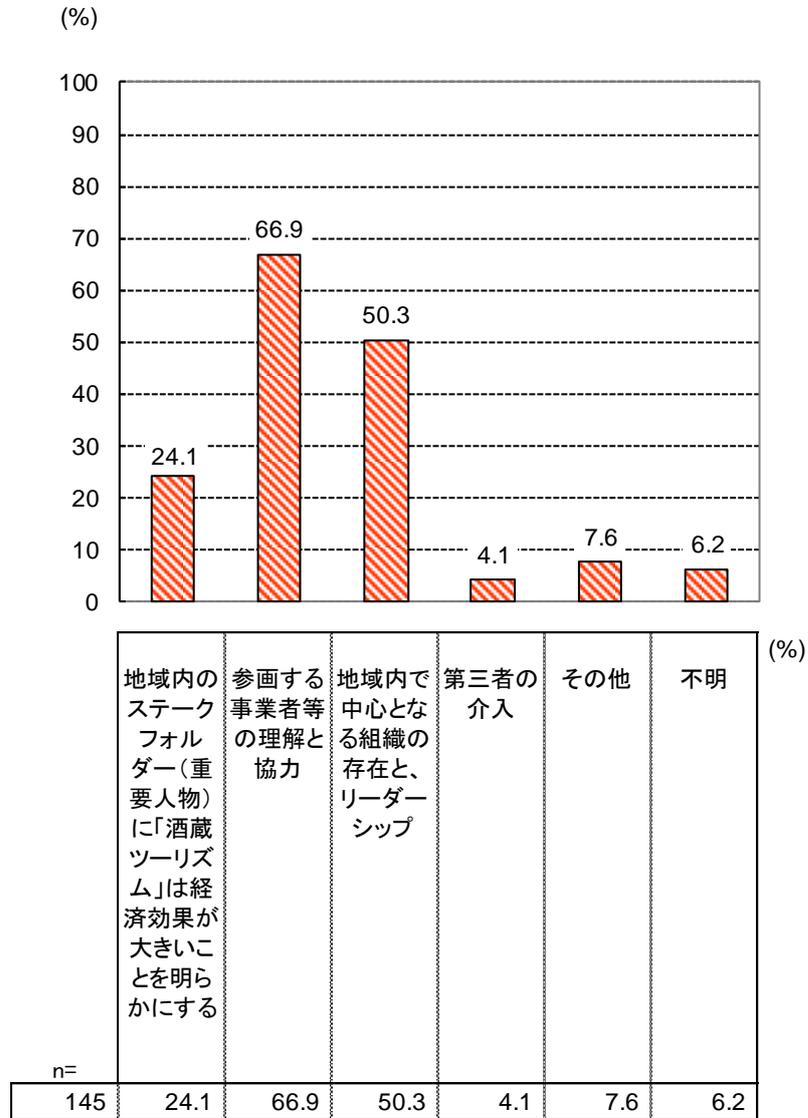
その他 (一部抜粋)

- ・ 酒蔵はないため甘酒等の類似商品との取り組み
- ・ インバウンド向け体験プログラムの開発 など

68.3%が「酒蔵見学をはじめとした、地域の体験コンテンツの商品化」に取り組んでほしい、と回答。

(問10) 地域全体で「酒蔵ツーリズム」を取り組むためには、何が重要だと考えますか。(複数回答)

地域の酒蔵ツーリズムで重要と思う事柄



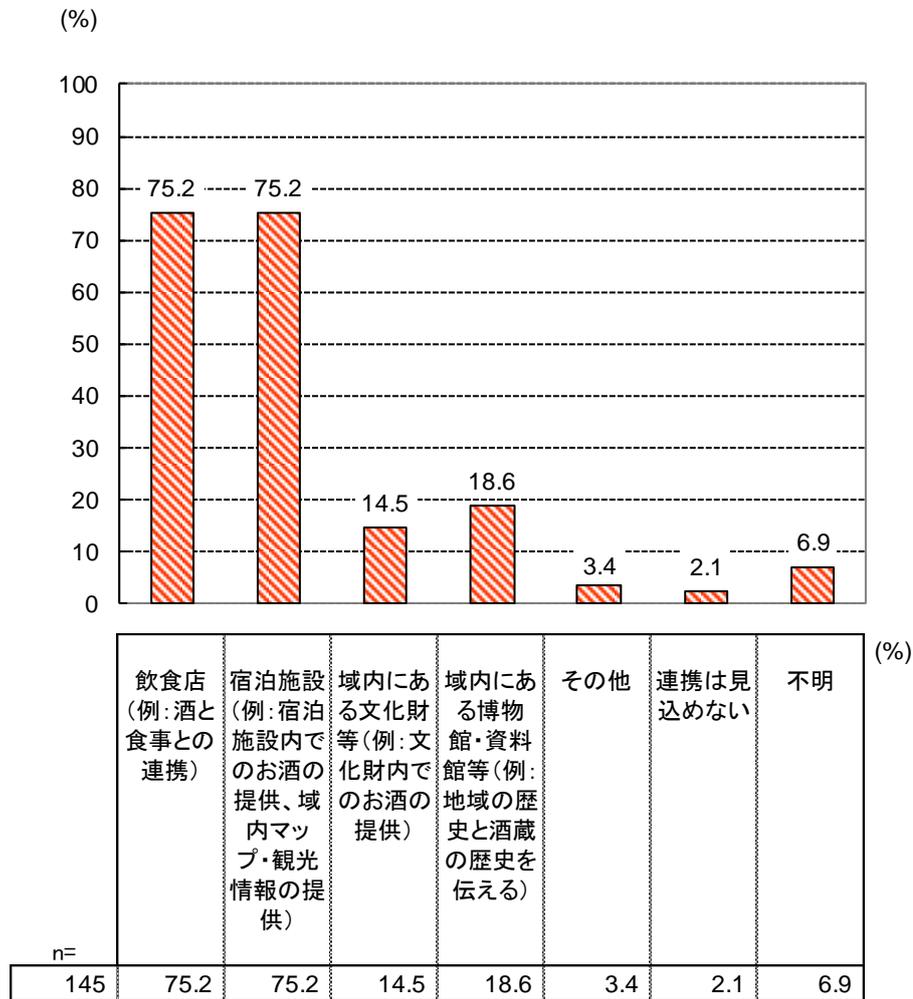
その他 (一部抜粋)

- ・ 二次交通の整備
- ・ 効果的な広報活動
- ・ 日本酒だけでなく、味噌や味醂等の醸造文化としての取り組み など

66.9%が「参画する事業者等の理解と協力」が重要だと回答。

(問11) 地域全体で「酒蔵ツーリズム」に取り組むこととなった場合、どういった事業者から協力を得ることができそうですか。(複数回答)

酒蔵ツーリズム取組み時の協力候補



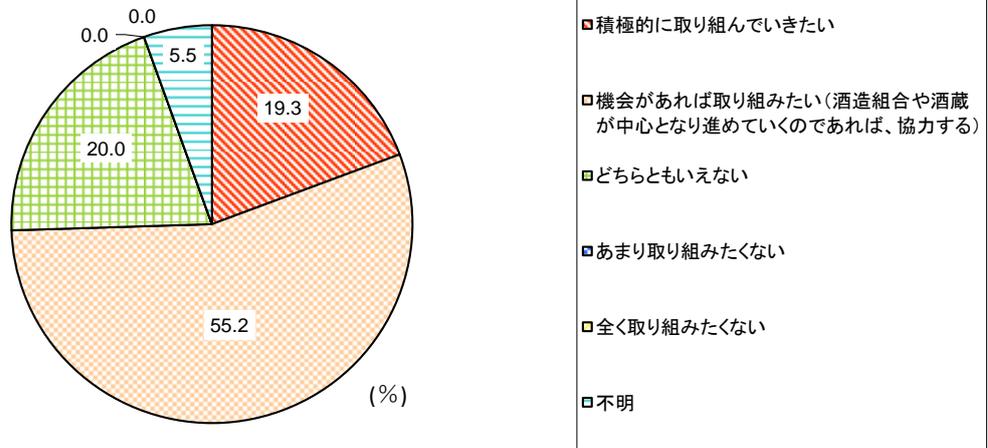
その他 (一部抜粋)

- ・ 交通事業者 など

75.2%が「飲食店」「宿泊施設」から協力を得ることができると回答。

(問12) 地域全体で「酒蔵ツーリズム」に取り組みたいと思いますか。

酒蔵ツーリズムへの取組意向

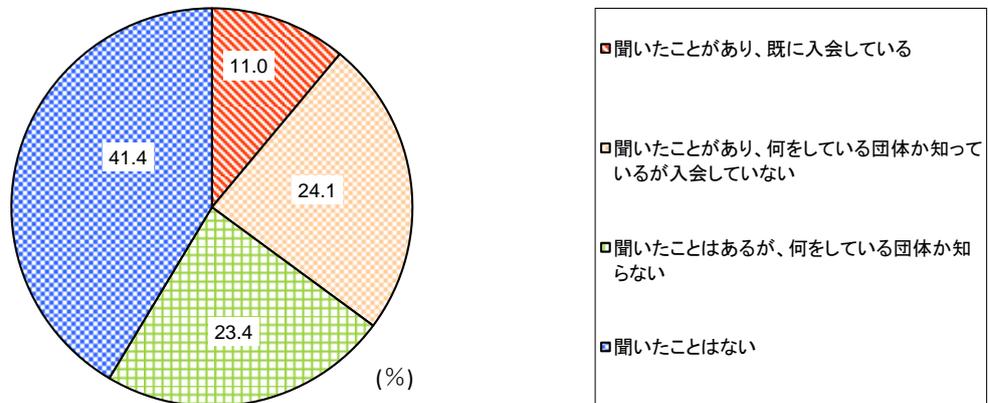


「機会があれば取り組みたい(酒造組合や酒蔵が中心となり進めていくのであれば協力する)」が 55.2%と最も多い。

3:「日本酒蔵ツーリズム推進協議会」についてお尋ねします。

(問13) 「日本酒蔵ツーリズム推進協議会」は聞いたことがありますか。(必須)

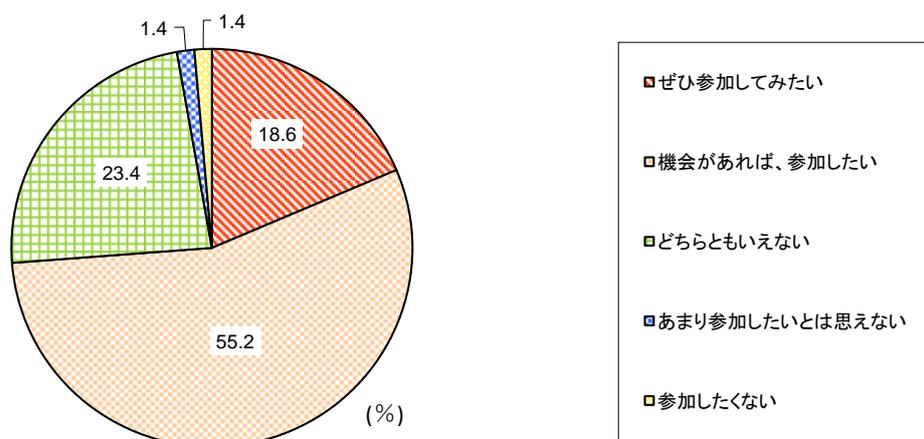
日本酒蔵ツーリズム推進協議会の認知度



「聞いたことがない」が41.4%と最も多い。

(問14) 「酒蔵ツーリズム」とは、「日本酒・焼酎・泡盛・ワイン・ビールなどの酒蔵を巡り、地域の方々と触れ合い、お酒を味わう。そして、そのお酒が育まれた土地を散策しながら、その土地ならではの郷土料理や伝統文化を楽しむ旅行」ことです。ひとりの旅行者として、「酒蔵ツーリズム」に参加してみたいと思いますか。(必須)

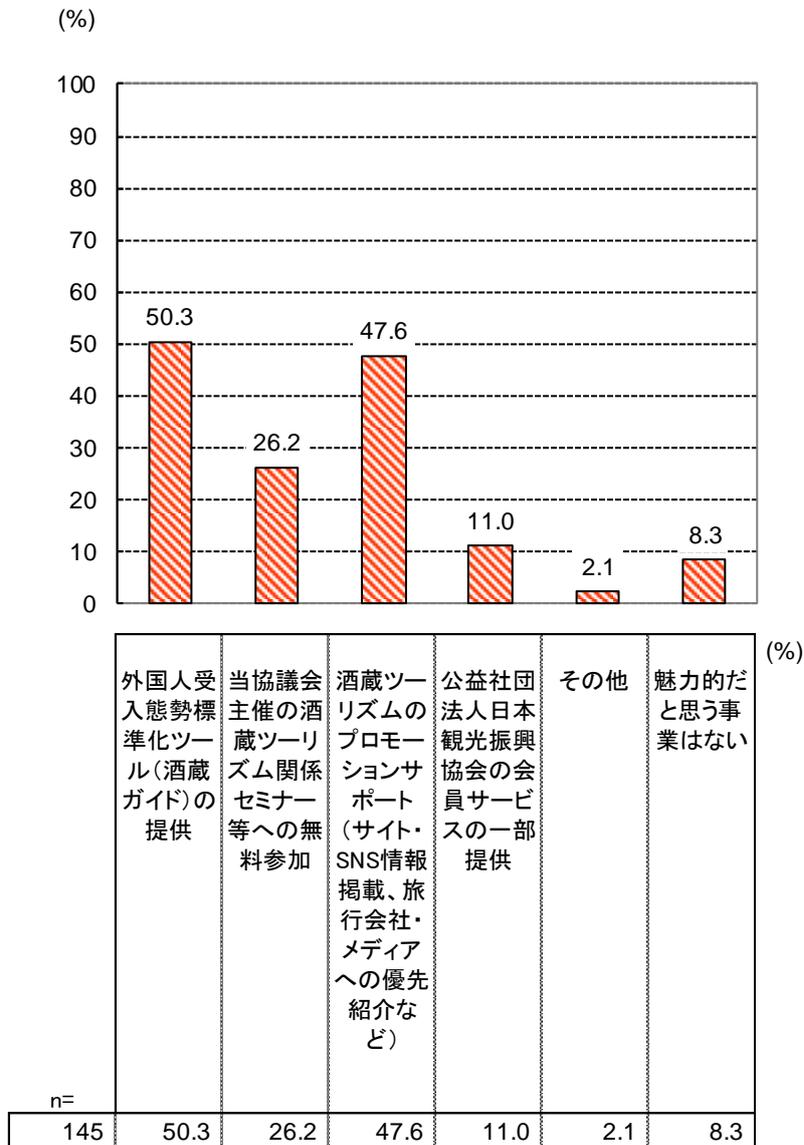
旅行者としての酒蔵ツーリズムへの参加意向



「ぜひ参加してみたい」「機会があれば参加したい」が7割以上であった。

(問15) 「日本酒蔵ツーリズム推進協議会」は、以下のとおり事業を展開しています。  
魅力的だと思う事業をお教えてください。(必須・複数回答)

日本酒蔵ツーリズム推進協議会の魅力的な事業

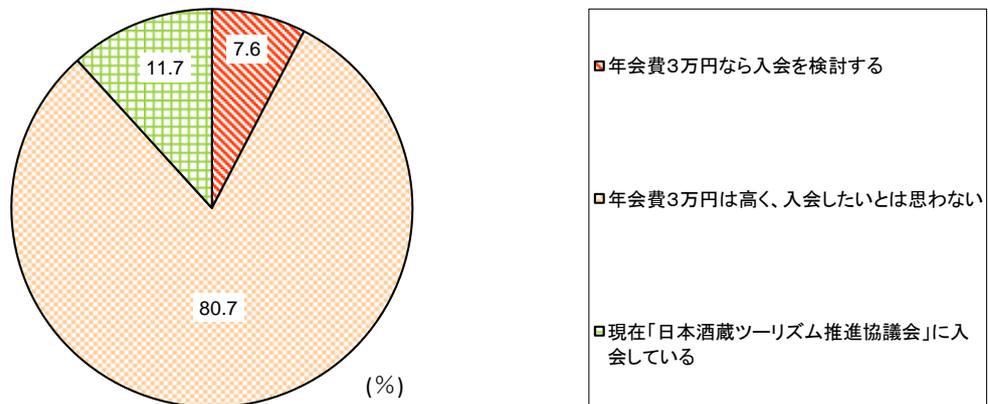


「外国人受入態勢標準化ツール<sup>5</sup>」が 50.3%と最も高い。

<sup>5</sup> 参考：<https://www.nihon-kankou.or.jp/sakagura/guidetool/>

(問16) 「日本酒蔵ツーリズム推進協議会」の年会費は3万円です（公益社団法人日本観光振興協会の正会員は年会費3万円の負担は任意）。入会したいと感じますか。（必須）

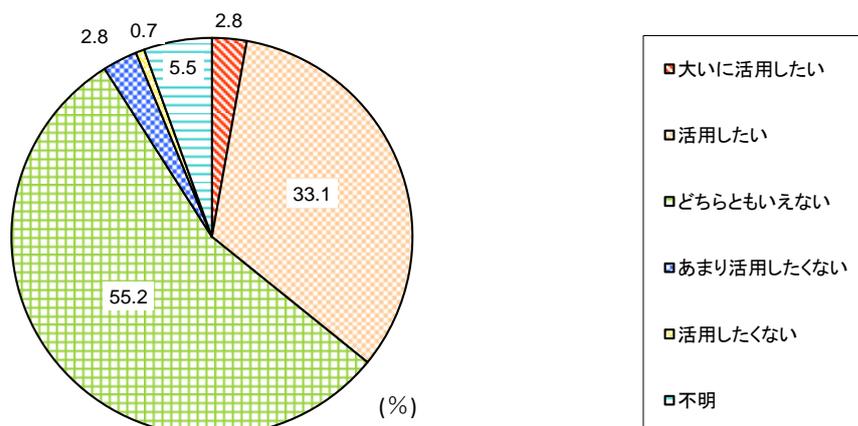
日本酒蔵ツーリズム推進協議会への入会意向



「年間費3万円は高く、入会したいとは思わない」が80.7%と最も高い。

(問17) 日本酒蔵ツーリズム推進協議会は「日本酒蔵ツーリズム推進協議会ホームページ」をリニューアルしました（令和2年3月下旬）。このホームページを活用したいと思いませんか。

日本酒蔵ツーリズム推進協議会公式HPの活用意向



55.2%が「どちらともいえない」と回答。

(問18) その理由について、お教えてください。(回答一部抜粋)

「大いに活用したい」と回答

- ・ 酒の魅力と観光の楽しさや魅力を融合させた HP であるため
- ・ ホームページを活用して、方法収集等に努めたい

「活用したい」と回答

- ・ 他の地域にて酒蔵ツーリズムの動向等を確認できるため
- ・ 酒蔵ツーリズムが、今後のインバウンドも含めた観光誘客に効果的であると感じるため
- ・ お酒に興味がある方が市町村探知で検索できることから、観光地選びの選択肢が増える

「どちらもといてない」と回答

- ・ 現在「酒」をテーマにした事業に取り組んでいないため
- ・ 汎用的な観光情報の発信をしているから
- ・ 高齢化・老朽化の問題により新規企画に参加できない

「あまり活用したくない」と回答

- ・ 受入態勢が不十分
- ・ 地域内で酒蔵に関する資料が少ないため

(問19) 「高濃度エタノール製品(消毒用アルコール代替品)」についてお尋ねします。

調査元である日本酒蔵ツーリズム推進協議会の事務局は、日本観光振興協会 (<https://www.nihon-kankou.or.jp/home/>) が務めています。このたびはネスレ日本株式会社様のご厚意により、コロナ禍で大きな影響を受けた観光関係産業の皆さまへの支援のため、ご寄付を頂くこととなりました。その寄付金で日本観光振興協会が、全国の観光関係事業者向けに「酒蔵で製造した高濃度エタノール製品」の配布を検討しています。

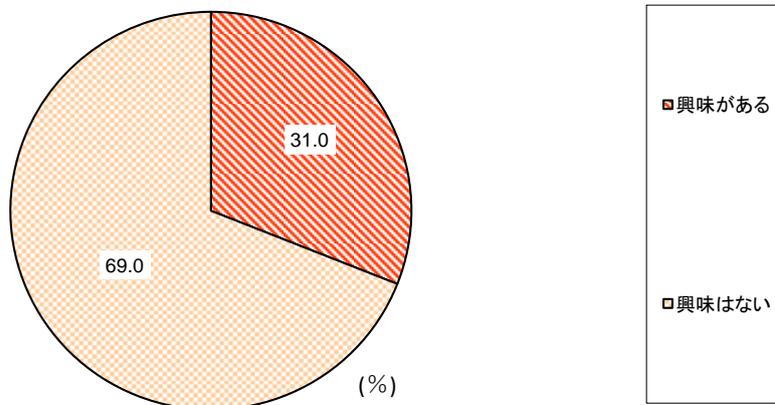
参考：

<https://www.nihon-kankou.or.jp/home/userfiles/files/autoupload/201019KitKatpressV2.pdf>

日本観光振興協会からの「高濃度エタノール製品(消毒用アルコール代替品)」の配布について、貴団体や関係施設などへの配布にご興味をお持ちですか。(必須)

なお、消毒液とその郵送費は日本観光振興協会が負担すると仮定してお答えください。また、こちらの回答により配送を確約するものではありません。

高濃度エタノール製品の利用意向



31.0%が「興味がある」と回答。

(問20) 「日本酒蔵ツーリズム推進協議会」に求める事業等があれば、お知らせください。(内容一部抜粋)

- ・ 酒蔵ツーリズムに関する各地でのプロジェクトに対する助成
- ・ 都道府県を超えた広域連携事業
- ・ お酒が得意ではない家族でも楽しめる企画紹介
- ・ 定期的な情報発信
- ・ モデルケースとしての酒蔵ツーリズム事業の提案
- ・ 首都圏と地方の酒蔵を結ぶ事業
- ・ 国際商談会でのサポート

(問21) 「日本酒蔵ツーリズム推進協議会」の事務局機能を担っている「公益社団法人日本観光振興協会」に対し、ご意見等ありましたらお知らせください。

(内容一部抜粋)

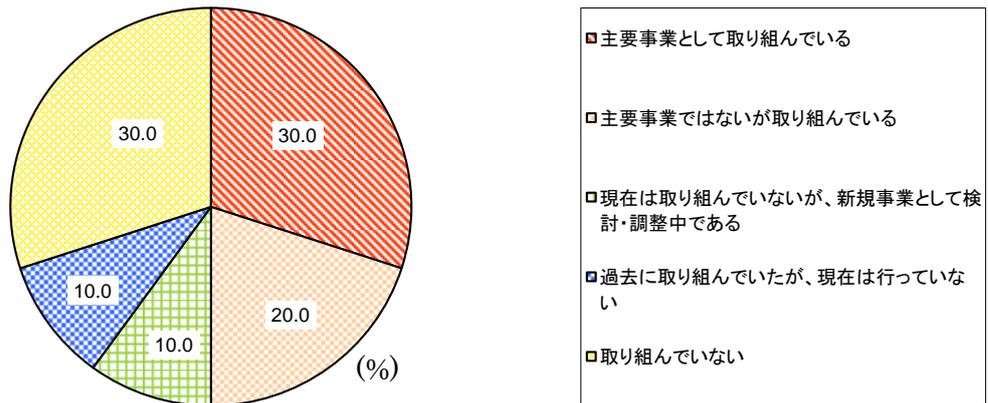
- ・ コロナ後の観光のあり方等について、具体的な提言やモデル事業などを進めていただくとともに、オピニオンリーダーとして積極的に情報発信をお願いしたい。
- ・ 各市町村レベルでも連携しながら観光情報の発信に引き続きご協力いただきたい。

(4) 民間企業を対象とした調査

1: これまでの取り組みについてお尋ねします。

(問1) 現在、「酒蔵・酒造」に関する事業に取り組んでいますか。(必須)

酒蔵・酒造に関する事業への取組

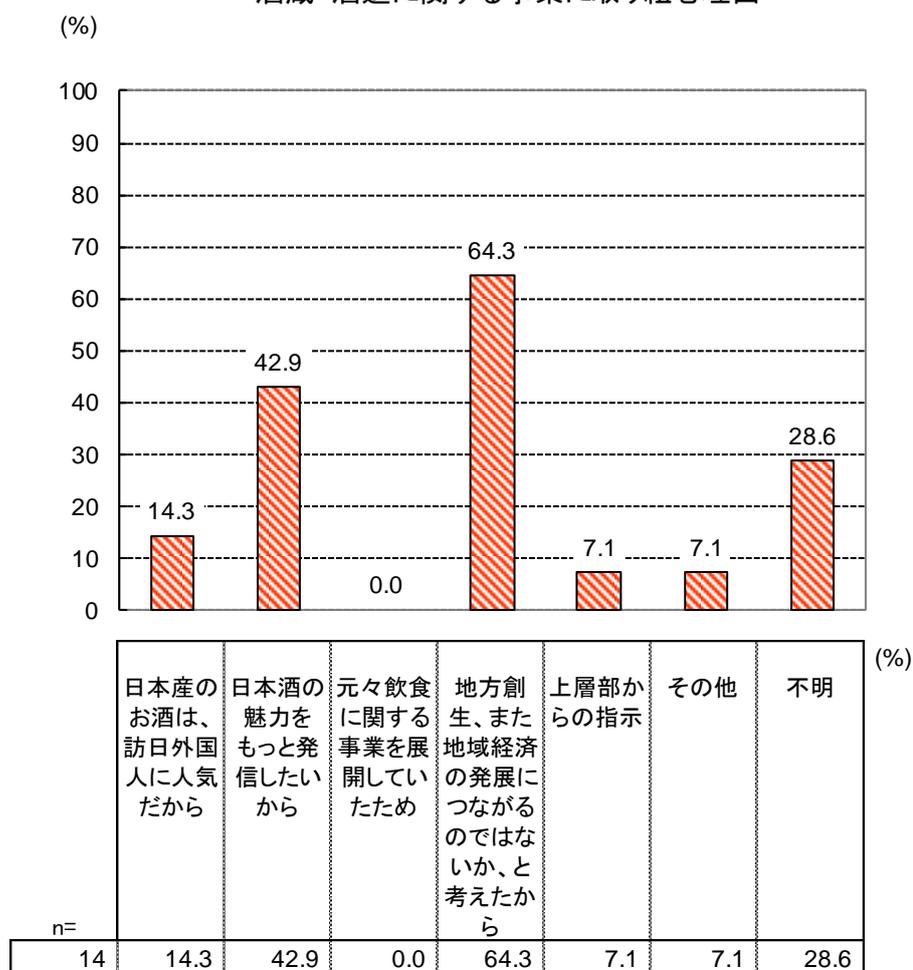


30.0%が「主要事業として取り組んでいる」と回答。

(問2)問 1 で、酒蔵・酒造に関する事業に「取り組んでいない」以外をお選びになった方へお尋ねします。

何故「酒蔵」に関する事業に取り組むようになったのか、その理由についてお聞かせください。(必須・複数回答)

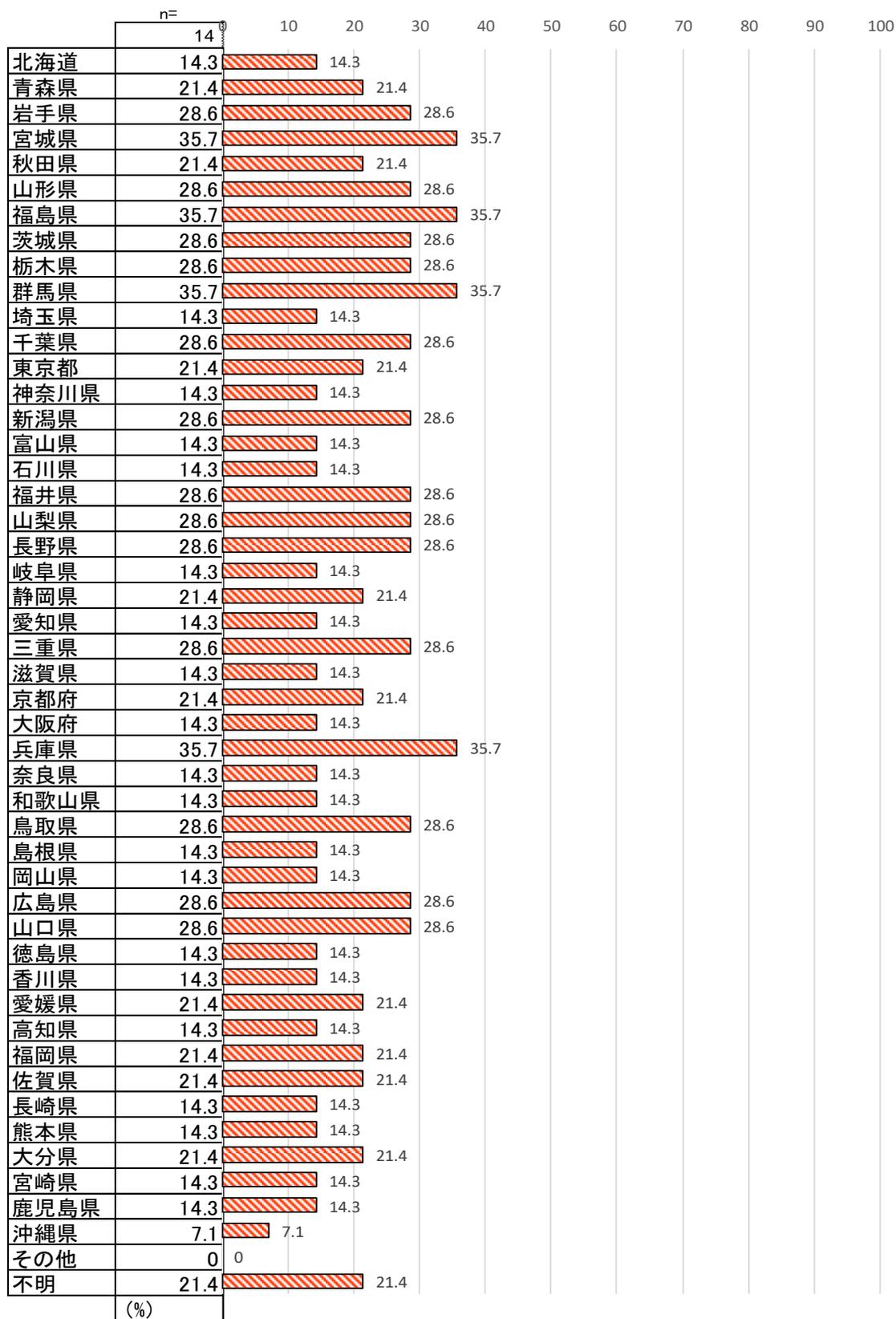
酒蔵・酒造に関する事業に取り組む理由



「地方創生、また地域経済の発展につながるのではないかと考えたから」が最も多く 64.3%だった。

(問3)問 1 で、酒蔵・酒造に関する事業に「取り組んでいない」以外をお選びになった方へお尋ねします。

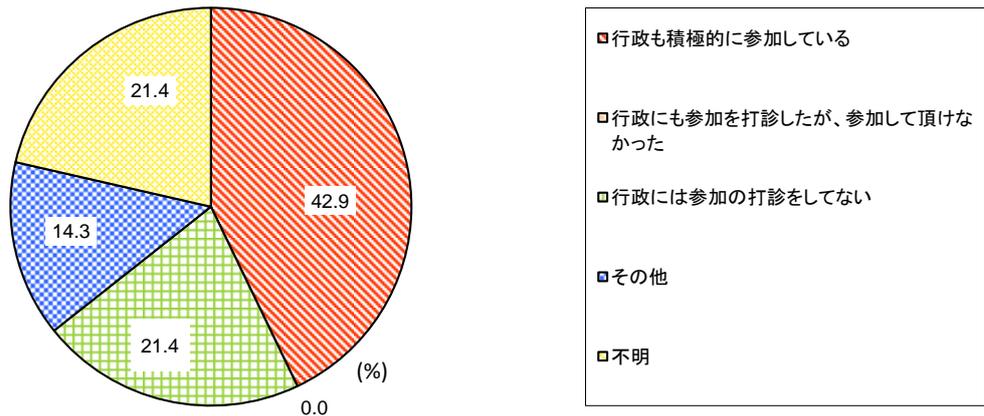
現在どの都道府県の酒蔵と関わりがありますか。(複数回答)



(問4)問 1 で、酒蔵・酒造に関する事業に「取り組んでいない」以外をお選びになった方へお尋ねします。

事業に取り組むにあたり、行政（都道府県・市町村・観光協会/連盟等）とも協力・連携しましたか。（必須）

酒蔵・酒造関連事業への取組み時の、行政や観光協会等との連携状況



その他（一部抜粋）

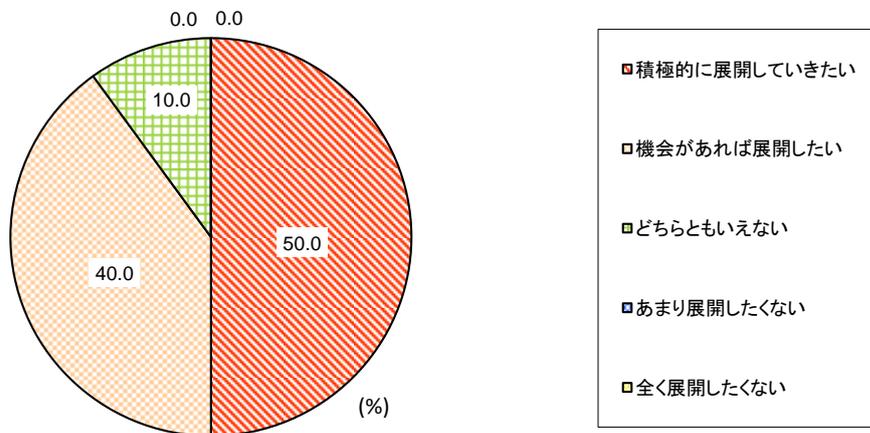
- ・ 事業によって異なる

「行政が積極的に参加している」が 42.9%も最も多いことがわかる。

2：今後の取り組みについてお尋ねします。

(問5) 今後、酒蔵・酒造関係者と事業を展開していきたいですか。(必須)

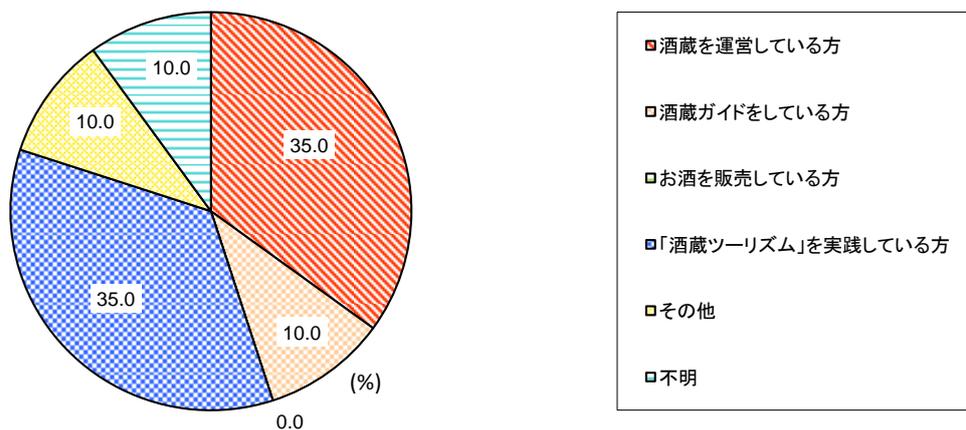
酒蔵・酒造関係者との、関連事業の展開意向



「積極的に展開していきたい」が 50.0%と最も高い。

(問6) 今後、どのような業種の方と新たなつながりや人脈を作りたいですか。

つながりたい酒蔵・酒造関係者の業種



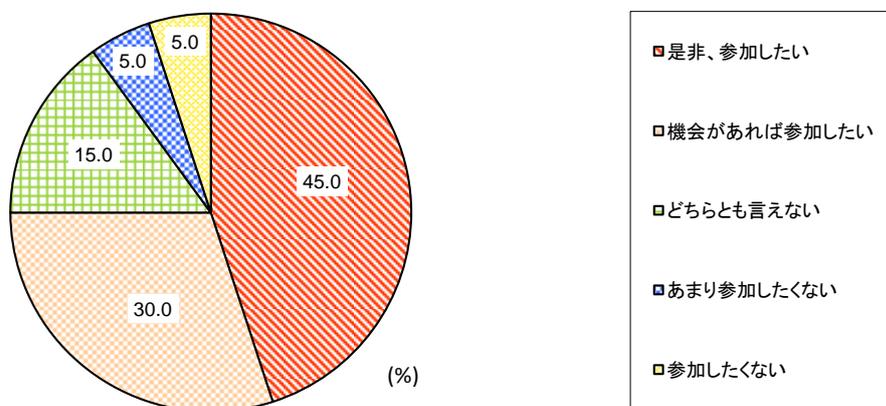
その他（一部抜粋）

- ・ 日本酒業界以外の方
- ・ 選択肢の全ての方々 など

「酒蔵を運営している方」「『酒蔵ツーリズム』を実践している方」が 35.0%と最も高い。

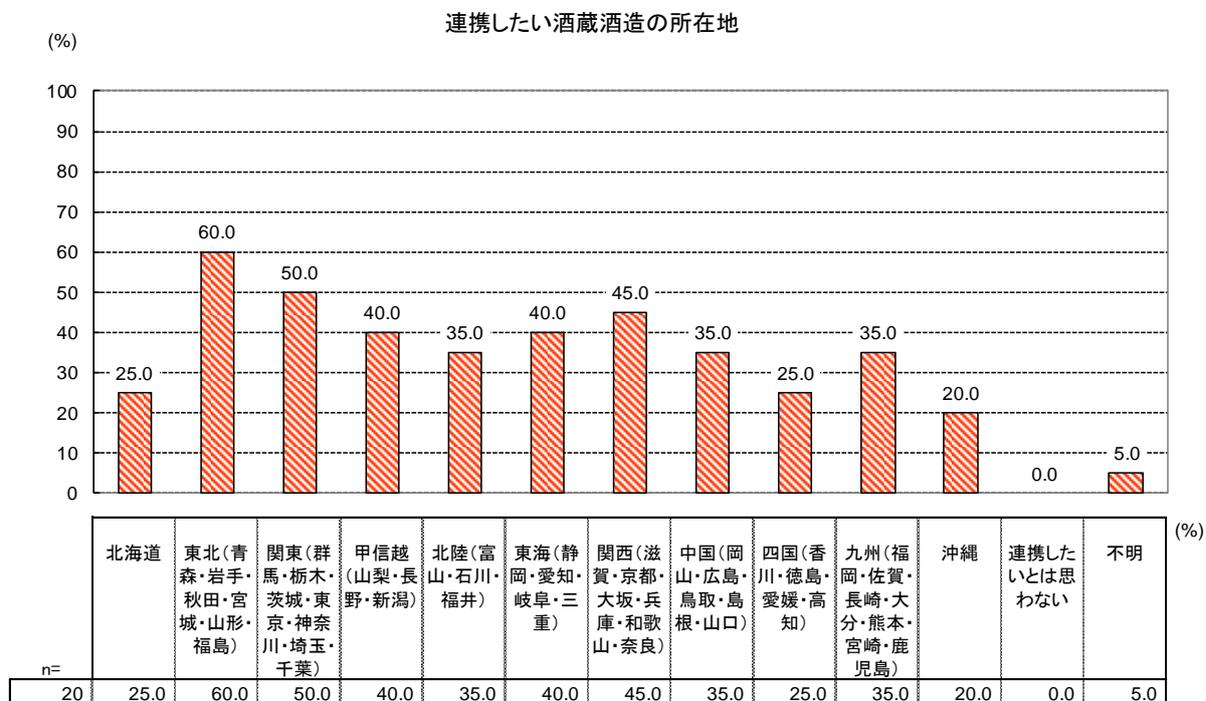
(問7) 「日本酒蔵ツーリズム推進協議会」が FAM ツアー<sup>6</sup>を実施・参加者を募集したら、参加したいと思いますか。(必須)

FAMツアー参加意向



45.0%が「是非、参加したい」、30.0%が「機会があれば参加したい」と回答。

(問8) 今後、どのエリアの酒蔵と連携したいと考えますか。(複数回答)



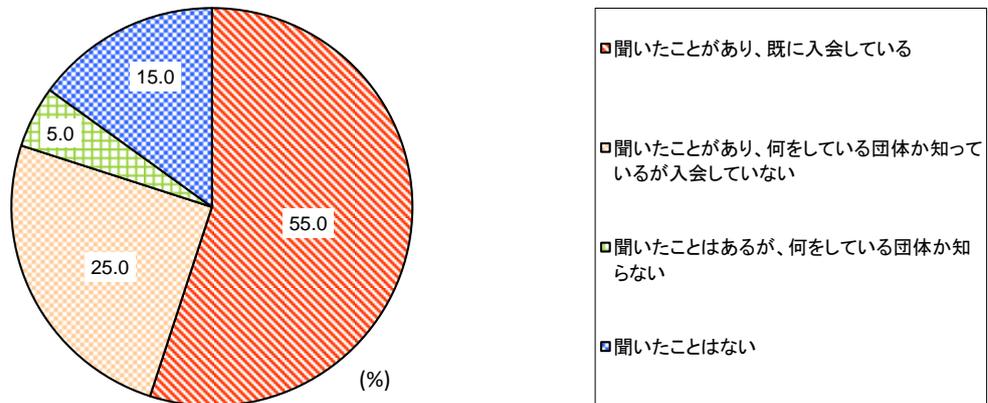
東北が最も多く 60.0%、次いで関東が 50.0%であった。

<sup>6</sup> FAM ツアーとは、旅行代理店やインフルエンサーに向けた体験視察ツアーで、旅行商品造成に役立ててもらいつつ、体験したことをブログや SNS などのメディアで発信し、地域の魅力を伝えて頂くものです。

3:「日本酒蔵ツーリズム推進協議会」についてお尋ねします。

(問9)「日本酒蔵ツーリズム推進協議会」は聞いたことがありますか。(必須)

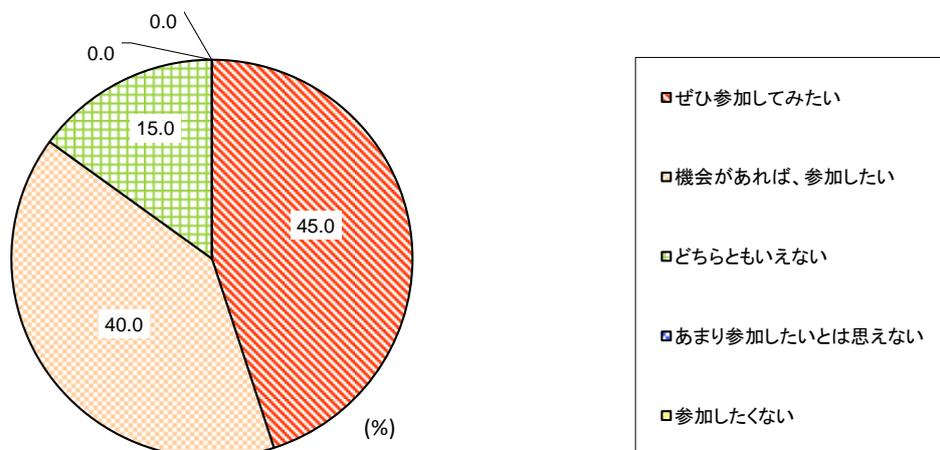
日本酒蔵ツーリズム推進協議会の認知度



「聞いたことがあります、既に入会している」が 55.0%と最も多い。

(問10)「酒蔵ツーリズム」とは、「日本酒・焼酎・泡盛・ワイン・ビールなどの酒蔵を巡り、地域の方々と触れ合い、お酒を味わう。そして、そのお酒が育まれた土地を散策しながら、その土地ならではの郷土料理や伝統文化を楽しむ旅行」ことです。ひとりの旅行者として、「酒蔵ツーリズム」に参加してみたいと思いませんか。(必須)

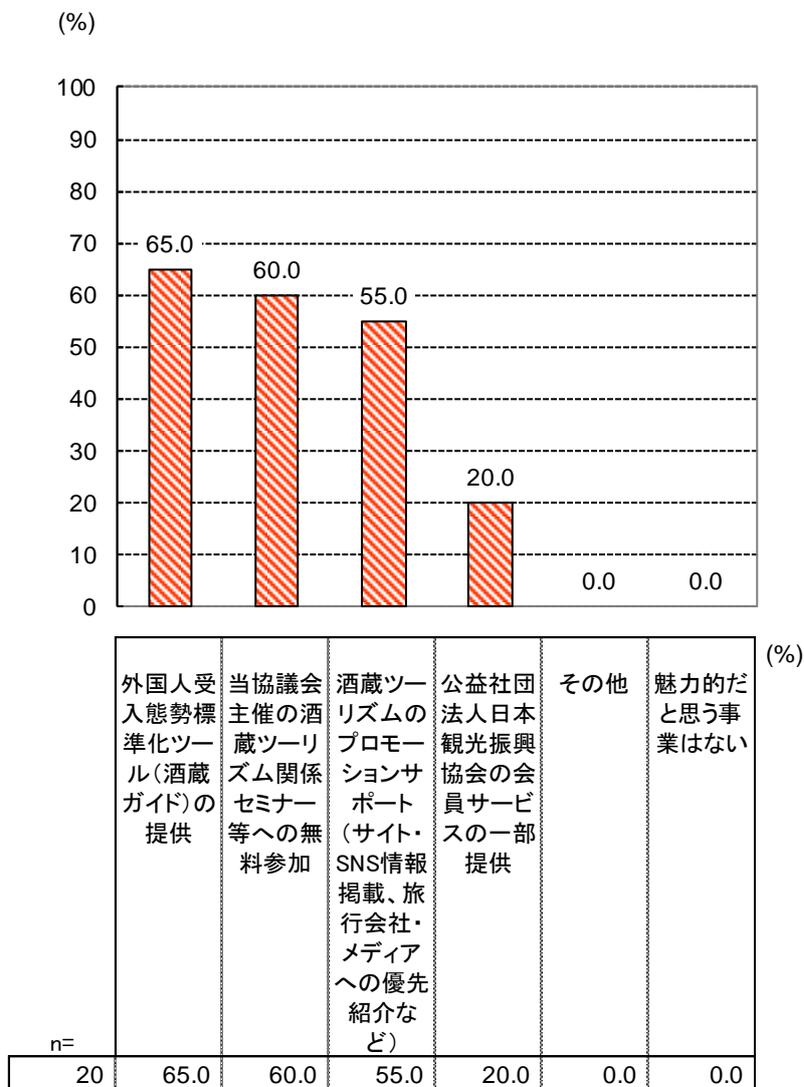
旅行者としての酒蔵ツーリズムへの参加意向



「ぜひ参加してみたい」が 45.0%と最も多い。

(問11) 「日本酒蔵ツーリズム推進協議会」は、以下のとおり事業を展開しています。  
魅力的だと思う事業をお教えてください。(必須・複数回答)

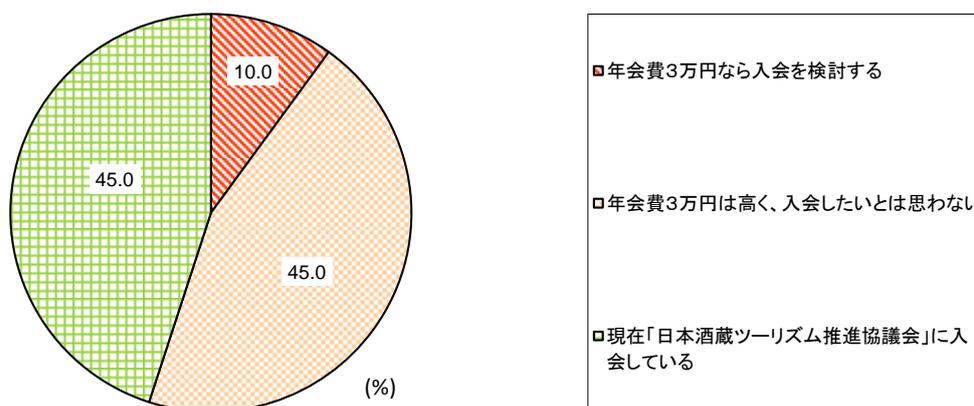
日本酒蔵ツーリズム推進協議会の魅力的な事業



「外国人受入態勢ツール(酒蔵ガイド)の提供」が65.0%と最も多い。次いで、「日本酒蔵ツーリズム推進協議会主催の酒蔵ツーリズム関係セミナー等への無料参加」が60.0%であった。

(問12) 「日本酒蔵ツーリズム推進協議会」の年会費は3万円です（公益社団法人日本観光振興協会の正会員は年会費3万円の負担は任意）。入会したいと感じますか。（必須）

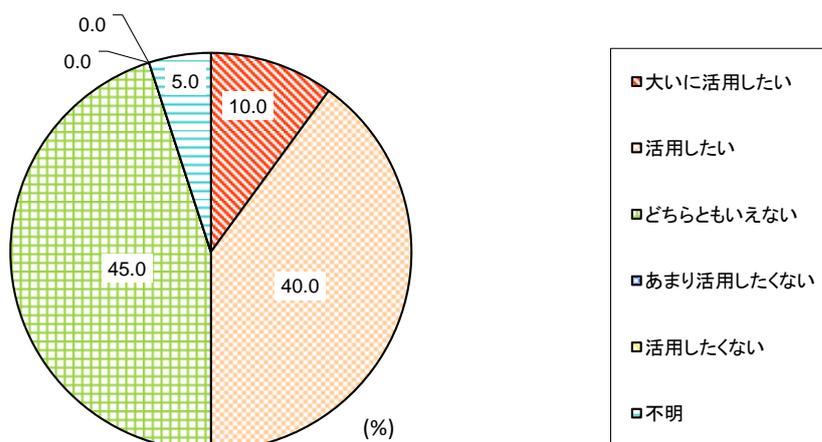
日本酒蔵ツーリズム推進協議会への入会意向



「年会費3万円は高く、入会したいとは思わない」が45.0%と最も多い。

(問13) 日本酒蔵ツーリズム推進協議会は「日本酒蔵ツーリズム推進協議会ホームページ」をリニューアルしました（令和2年3月下旬）。このホームページを活用したいと思いますか。

日本酒蔵ツーリズム推進協議会公式HPの活用意向



45.0%は「どちらともいえない」と回答。

(問14) その理由について、お教えてください。(回答一部抜粋)

「大いに活用したい」と回答

- ・ 全国を網羅しているから

「活用したい」と回答

- ・ 「酒蔵ツーリズム」をとりまとめている情報が必要だから
- ・ 会員情報や取り組み事例を参考とするため
- ・ 情報収集

「どちらともいえない」と回答

- ・ 直接的に関わることができる案件が見当たらない
- ・ 閲覧者の情報不足
- ・ 参加する酒造関係者が少ない

(問15) 「日本酒蔵ツーリズム推進協議会」に求める事業等があれば、お知らせください。(回答一部抜粋)

- ・ 酒蔵や観光協会・旅行会社等、酒蔵ツーリズムに関わる団体のマッチングの場
- ・ お酒のパッケージデザイン等の支援事業
- ・ 定期的な会員赤倉との交流・情報交換の場
- ・ 酒造・酒蔵と地域資源を組み合わせたコンテンツ造成

(問16) 「日本酒蔵ツーリズム推進協議会」の事務局機能を担っている「公益社団法人日本観光振興協会」に対し、ご意見等ありましたらお知らせください。(回答一部抜粋)

- ・ 酒蔵ツーリズムセミナー・シンポジウムの開催
- ・ 「酒蔵ツーリズム」の可能性・大切さについて伝えてほしい
- ・ 全国各地の観光による成功事例

## (5) 今後の取り組みについて

今回の調査結果より、旅行者として「酒蔵ツーリズム」への参加意欲・興味関心が高い。一方で、酒蔵ツーリズムに取り組んでいる「日本酒蔵ツーリズム推進協議会」の認知度は低いことがわかった。旅行者として「酒蔵ツーリズム」に対し意欲・関心が高いが、受入態勢が整備されていないと推察できる。そのためには、「日本酒蔵ツーリズム推進協議会」の認知度を向上させることで、酒蔵ツーリズムに取り組む地方自治体・観光協会等を増やし、日本全体での酒蔵ツーリズムの受入態勢を整える必要がある。

昨今は新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、新しい観光として「オンラインツアー」を取り入れている自治体・旅行会社等があるが、本調査より興味・関心はあるものの、取り入れることに対してハードルが高く感じていることがわかった。オンラインツアーを実施することで、酒蔵への訪問が難しい時期でも、効果的に顧客とのつながりを維持することができる。今後の「酒蔵ツーリズムセミナー」のテーマのひとつとして、検討する。

今回の調査は、基本的な「酒蔵ツーリズム」実態把握を目的とした。引き続き調査を実施し、さらに詳細な調査を進めていく必要がある。



# 參考資料







- (11) 地域全体で「酒蔵ツーリズム」に取り組むために、何が重要だと考えますか。(複数回答)
- ① 地域内のステークホルダー（重要人物）に「酒蔵ツーリズム」は経済効果が大きいことを明らかにする
  - ② 参画する事業者等の理解と協力
  - ③ 地域内で中心となる組織の存在と、リーダーシップ
  - ④ 第三者の介入
  - ⑤ その他（                      ）
- (12) 今後、行政から「酒蔵ツーリズム」に取り組むため協力依頼があった場合、どの程度協力・参画したいと考えますか？
- ① 積極的に取り組みたい
  - ② 機会があれば取り組んでみたい  
（自治体や地域の酒造組合などが中心になって取り組むなら取り組んでも良い）
  - ③ どちらとも言えない
  - ④ あまり取り組みたいとは思わない
  - ⑤ 取り組みたくない
- (13) 新型コロナウイルスの影響により、オンラインツアー等を実施している団体・企業がありますが、今後取り入れてみたいと思いますか。
- ① 積極的に取り組みたい
  - ② 機会があれば取り組んでみたい  
（自社の若手中心に行うのであれば取り組んでも良い）
  - ③ どちらとも言えない
  - ④ あまり取り組みたいとは思わない
  - ⑤ 取り組みたくない
  - ⑥ 既に取り組んでいる

3. 「日本酒蔵ツーリズム推進協議会」についてお尋ねします。

(14) 「日本酒蔵ツーリズム推進協議会」は聞いたことがありますか。(必須)

- ① 聞いたことがあります、既に入会している
- ② 聞いたことがあります、何をしている団体か知っているが入会していない
- ③ 聞いたことはあるが、何をしている団体か知らない
- ④ 聞いたことはない

(15) 「酒蔵ツーリズム」とは、「日本酒・焼酎・泡盛・ワイン・ビールなどの酒蔵を巡り、地域の方々と触れ合い、お酒を味わう。そして、そのお酒が育まれた土地を散策しながら、その土地ならではの郷土料理や伝統文化を楽しむ旅行」のことです。

ひとりの旅行者として、「酒蔵ツーリズム」に参加してみたいと思いますか。(必須)

- ① ぜひ参加してみたい
- ② 機会があれば、参加したい
- ③ どちらとも言えない
- ④ あまり参加したとは思えない
- ⑤ 参加したくない

(16) 「日本酒蔵ツーリズム推進協議会」は以下のとおりの事業を展開しております。魅力的だと思ふ事業をお教えてください。(複数回答)(必須)

- ① 外国人受入態勢標準化ツール(酒蔵ガイド)の提供  
参考：<https://www.nihon-kankou.or.jp/sakagura/guidetool/>
- ② 当協議会主催の酒蔵ツーリズム関係セミナー等への無料参加  
(実績：令和元年度は酒蔵ツーリズムセミナーを2回開催)
- ③ 酒蔵ツーリズムのプロモーションサポート(サイト・SNS情報掲載、旅行会社・メディアへの優先紹介など)  
実績：ツーリズム EXPO ジャパン 2019「酒蔵ツーリズムブース」への出展、  
日本観光振興協会の季刊誌「観光とまちづくり」へ掲載など
- ④ 公益社団法人日本観光振興協会の会員サービスの一部提供  
参考：<https://www.nihon-kankou.or.jp/home/kaiin/>
- ⑤ その他( )
- ⑥ 魅力的だと思ふ事業はない

(17) 「日本酒蔵ツーリズム推進協議会」の年会費3万円です(公益社団法人日本観光振興協会の正会員は年会費3万円の負担は任意)。入会したいと感じますか。(必須)

- ① 年会費3万円なら入会を検討する
- ② 年会費3万円は高く、入会したいとは思わない
- ③ 現在「日本酒蔵ツーリズム推進協議会」に入会している

(18) 日本酒蔵ツーリズム推進協議会は、「日本酒蔵ツーリズム推進協議会公式ホームページ」をリニューアルしました。(令和2年3月下旬)

▶ <https://www.nihon-kankou.or.jp/sakagura/>

このホームページを活用したいと思いますか。

- ① 大いに活用したい
- ② 活用したい
- ③ どちらともいえない
- ④ あまり活用したくない
- ⑤ 活用したくない

(19) その理由についてお教えてください。

(250字以内で自由にご記入ください)

(20) 「日本酒蔵ツーリズム推進協議会」に求める事業等があれば、お知らせください。

(250字以内で自由にご記入ください)

(21) 「日本酒蔵ツーリズム推進協議会」の事務局機能を担っている「(公社)日本観光振興協会」に対し、ご意見等ありましたらお知らせください。

(250字以内で自由にご記入ください)

4. 「高濃度エタノール製品（消毒用アルコール代替品）」について、お尋ねします。

※高濃度エタノール製品詳細（国税庁 HP）：

<https://www.nta.go.jp/taxes/sake/kansensho/index.htm>

調査元である日本酒蔵ツーリズム推進協議会は、日本観光振興協会（<https://www.nihon-kankou.or.jp/home/>）が事務局を務めています。このたびはスレ日本株式会社様のご厚意により、コロナ禍で大きな影響を受けた観光関係産業の皆様への支援のため、ご寄付を頂くこととなりました。その寄付金で、日本観光振興協会が全国の観光事業者に向けた「酒蔵で製造したアルコール消毒液」の配布を検討しています。

本調査では、御社における「高濃度エタノール製品（消毒用アルコール代替品）」の販売可否を確認したく、実施するものです。

- (22) 御社では「高濃度エタノール製品（消毒用アルコール代替品）」を製造していますか。（必須）

- ① 製造している
- ② 製造していない
- ③ わからない・回答できない

- (23) (22) で「製造している」と回答された方にお尋ねします。販売可能な商品についてご記入ください。

	大きさ (単位：ml)	最新の在庫本数 (単位：本)	金額 (単位：円(税込))	濃度 (単位：%)
1 つめの商品				
2 つめの商品				
3 つめの商品				

- (24) (23) でお答えいただいた 1 つめ～3 つめの商品について、全国の個人への通販の可否をお教えてください。

	可能	不可能
1 つめの商品		
2 つめの商品		
3 つめの商品		

- (25) (24) でお答えいただいた 1 つめ～3 つめの商品について、1 出荷あたりの最低ラインをご記入ください。例：1 本、4 本 1 箱以上、5,000 円以上 等

1 つめの商品	
2 つめの商品	
3 つめの商品	

(26) (25) でご記入いただいた製品の購入方法についてお教えてください。

- ① 公式ホームページより購入
- ② 電話にて購入 ※次問にて対象となる電話番号をご記入ください。
- ③ その他 ( )

(27) 購入に関する問い合わせ先が、本アンケートの回答者以外の場合のみ回答

アンケート回答結果より、高濃度エタノール製品の購入についてご相談の連絡をさせて頂く場合があります。ご連絡先についてお教え頂けますと幸いです。

- お名前： \_\_\_\_\_
- 会社名： \_\_\_\_\_
- ご所属： \_\_\_\_\_
- 役 職： \_\_\_\_\_
- 住 所： 〒 \_\_\_\_\_
- お電話： \_\_\_\_\_
- FAX 番号： \_\_\_\_\_
- Email： \_\_\_\_\_

(28) [貴社のブランド商品名]貴社の代表的な商品のブランド名を3つまでお教えてください。

※ブランド名が「観光」の場合の記入例：観光（日本酒）

1 つめの商品	
2 つめの商品	
3 つめの商品	

(29) 本アンケートについてお答えいただいた方についてお答えください。(必須)

- ご所属： \_\_\_\_\_
- お名前： \_\_\_\_\_
- お電話： \_\_\_\_\_
- Email： \_\_\_\_\_
- 本アンケート結果について、データでの共有を
  - 希望します（上記アドレス宛にお送りいたします）
  - 希望しません

## II. 地方自治体・観光協会等を対象とした調査 項目

「酒蔵ツーリズム」とは、酒蔵が他の観光資源や食と連携することで地域の観光力が強化され、地域全体に継続的な経済波及効果を生み出し、地域活性化に貢献できることを目的とし実施しています。こちらを踏まえた上で、ご回答頂きますようお願い申し上げます。

### 1. これまでの取り組みについてお尋ねします。

(1) 令和元年度（2019年4月～2020年3月）の間、域内に観光客（日本人観光客・訪日外国人観光客合算）はどのくらい訪問されていますか。※概算で構いません

- ① 50人未満
- ② 50人以上100人未満
- ③ 100人以上500人未満
- ④ 500人以上1,000人未満
- ⑤ 1,000人以上
- ⑥ その他（                    ）
- ⑦ 受け入れていない・わからない

(2) 地域内に酒蔵はどのくらいありますか。（必須）

- ① 5蔵未満
- ② 5蔵以上10蔵未満
- ③ 10蔵未満25蔵未満
- ④ 25蔵以上
- ⑤ わからない

(3) (2)で「地域内に酒蔵がある」と回答した方にお尋ねします。

酒蔵見学など、観光客の受け入れを行っている酒蔵はいくつありますか。

- ① 5蔵未満
- ② 5蔵以上10蔵未満
- ③ 10蔵未満25蔵未満
- ④ 25蔵以上
- ⑤ 観光客の受け入れを行っている酒蔵はない
- ⑥ わからない

(4) 行政（観光主管課）と酒蔵・酒造組合等との関わり・連携はありますか。

- ① 日々連携している
- ② イベント時のみ連携している
- ③ あまり連携していない
- ④ 全く関わりがない
- ⑤ その他（                    ）





(12) 地域全体で「酒蔵ツーリズム」に取り組みたいと思いますか。

① 積極的に取り組んでいきたい

② 機会があれば取り組みたい

(酒造組合や酒蔵が中心となり進めていくのであれば、協力する)

③ どちらともいえない

④ あまり取り組みたくない

⑤ 全く取り組みたくない

3. 「日本酒蔵ツーリズム推進協議会」についてお尋ねします。

(13) 「日本酒蔵ツーリズム推進協議会」は聞いたことがありますか。(必須)

- ① 聞いたことがあります、既に入会している
- ② 聞いたことがあります、何をしている団体か知っているが入会していない
- ③ 聞いたことはあるが、何をしている団体か知らない
- ④ 聞いたことはない

(14) 「酒蔵ツーリズム」とは、「日本酒・焼酎・泡盛・ワイン・ビールなどの酒蔵を巡り、地域の方々と触れ合い、お酒を味わう。そして、そのお酒が育まれた土地を散策しながら、その土地ならではの郷土料理や伝統文化を楽しむ旅行」のことです。

ひとりの旅行者として、「酒蔵ツーリズム」に参加してみたいと思いますか。(必須)

- ① ぜひ参加してみたい
- ② 機会があれば、参加したい
- ③ どちらとも言えない
- ④ あまり参加したとは思えない
- ⑤ 参加したくない

(15) 「日本酒蔵ツーリズム推進協議会」は以下のとおりの事業を展開しております。魅力的だと思ふ事業をお教えてください。(複数回答)(必須)

- ① 外国人受入態勢標準化ツール(酒蔵ガイド)の提供  
参考：<https://www.nihon-kankou.or.jp/sakagura/guidetool/>
- ② 当協議会主催の酒蔵ツーリズム関係セミナー等への無料参加  
(実績：令和元年度は酒蔵ツーリズムセミナーを2回開催)
- ③ 酒蔵ツーリズムのプロモーションサポート(サイト・SNS情報掲載、旅行会社・メディアへの優先紹介など)  
実績：ツーリズム EXPO ジャパン 2019「酒蔵ツーリズムブース」への出展、  
日本観光振興協会の季刊誌「観光とまちづくり」へ掲載など
- ④ 公益社団法人日本観光振興協会の会員サービスの一部提供  
参考：<https://www.nihon-kankou.or.jp/home/kaiin/>
- ⑤ その他( )
- ⑥ 魅力的だと思ふ事業はない

(16) 「日本酒蔵ツーリズム推進協議会」の年会費3万円です(公益社団法人日本観光振興協会の正会員は年会費3万円の負担は任意)。入会したいと感じますか。(必須)

- ① 年会費3万円なら入会を検討する
- ② 年会費3万円は高く、入会したいとは思わない
- ③ 現在「日本酒蔵ツーリズム推進協議会」に入会している

(17) 日本酒蔵ツーリズム推進協議会は、「日本酒蔵ツーリズム推進協議会公式ホームページ」をリニューアルしました。(令和2年3月下旬)

▶ <https://www.nihon-kankou.or.jp/sakagura/>

このホームページを活用したいと思いますか。

- ① 大いに活用したい
- ② 活用したい
- ③ どちらともいえない
- ④ あまり活用したくない
- ⑤ 活用したくない

(18) その理由についてお教えてください。

(250字以内で自由にご記入ください)

(19) 「高濃度エタノール製品（消毒用アルコール代替品）」についてお尋ねします。

調査元である日本酒蔵ツーリズム推進協議会の事務局は、日本観光振興協会 (<https://www.nihon-kankou.or.jp/home/>) が務めています。このたびネスレ日本株式会社様のご厚意により、コロナ禍で大きな影響を受けた観光関係産業の皆さまへの支援のため、ご寄付を頂くこととなりました。その寄付金で日本観光振興協会が、全国の観光関係事業者向けに「酒蔵で製造した高濃度エタノール製品」の配布を検討しています。

参考：<https://www.nihon-kankou.or.jp/home/userfiles/files/autoupload/201019KitKatpressV>

日本観光振興協会から「高濃度エタノール製品（消毒用アルコール代替品）」の配布について、貴団体や関係施設などへの配布にご興味をお持ちですか。(必須)

なお、消毒液とその郵送費は日本観光振興協会が負担すると仮定してお答えください。

また、こちらの回答により配送を確約するものではありません。

- ① 興味がある
- ② 興味はない

(20) (19) で「①興味がある」と回答した方にお尋ねします。

アンケート回答結果より、高濃度エタノール製品の配布についてご相談の連絡をさせて頂く場合があります。本件に関するご担当者様についてご記入ください。

○お名前： \_\_\_\_\_

○会社名： \_\_\_\_\_

○所 属： \_\_\_\_\_

○役 職： \_\_\_\_\_

○住 所： 〒 \_\_\_\_\_

○電 話： \_\_\_\_\_

○F A X : \_\_\_\_\_

○メール： \_\_\_\_\_

(21) 「日本酒蔵ツーリズム推進協議会」に求める事業等があれば、お知らせください。

(250 字以内で自由にご記入ください)

(22) 「日本酒蔵ツーリズム推進協議会」の事務局機能を担っている「(公社) 日本観光振興協会」に対し、ご意見等ありましたらお知らせください。

(250 字以内で自由にご記入ください)

(23) このアンケートにご回答いただいた方についてご記入ください。(必須)

○会 社 名： \_\_\_\_\_

○所属部署： \_\_\_\_\_

○お 名 前： \_\_\_\_\_

○お 電 話： \_\_\_\_\_

○E m a i l : \_\_\_\_\_

○本アンケート結果について、データでの共有を

希望します (上記アドレス宛にお送りいたします)

希望しません

### III. 民間企業を対象とした調査 項目

#### 1. これまでの取り組みについてお尋ねします。

##### (1) 現在、「酒蔵・酒造」に関する事業に取り組んでいますか。(必須)

- ① 主要事業として取り組んでいる
- ② 主要事業ではないが取り組んでいる
- ③ 現在は取り組んでいないが、新規事業として検討・調整中である
- ④ 過去に取り組んでいたが、現在は行っていない
- ⑤ 取り組んでいない

##### (2) (1) で酒蔵・酒造に関する事業に「取り組んでいない」以外をお選びになった方へお尋ねします。

何故「酒蔵」に関する事業に取り組むようになったのか、その理由についてお聞かせください。(複数回答)

- ① 日本産のお酒は、訪日外国人に人気だから
- ② 日本酒の魅力をもっと発信したいから
- ③ 元々飲食に関する事業を展開していたため
- ④ 地方創生、また地域経済の発展につながるのではないかと考えたから
- ⑤ 上層部からの指示
- ⑥ その他 ( )

##### (3) (1) で酒蔵・酒造に関する事業に「取り組んでいない」以外をお選びになった方へお尋ねします。

現在、どこの都道府県の酒蔵と関わりがありますか。都道府県名をお選びください。

- ①北海道 ②青森県 ③岩手県 ④宮城県 ⑤秋田県 ⑥山形県 ⑦福島県
- ⑧茨城県 ⑨栃木県 ⑩群馬県 ⑪埼玉県 ⑫千葉県 ⑬東京都 ⑭神奈川県
- ⑮新潟県 ⑯富山県 ⑰石川県 ⑱福井県 ⑲山梨県 ⑳長野県 ㉑岐阜県
- ㉒静岡県 ㉓愛知県 ㉔三重県 ㉕滋賀県 ㉖京都府 ㉗大阪府 ㉘兵庫県
- ㉙奈良県 ㉚和歌山県 ㉛鳥取県 ㉜島根県 ㉝岡山県 ㉞広島県 ㉟山口県
- ㊱徳島県 ㊲香川県 ㊳愛媛県 ㊴高知県 ㊵福岡県 ㊶佐賀県 ㊷長崎県
- ㊸熊本県 ㊹大分県 ㊺宮崎県 ㊻鹿児島県 ㊼沖縄県 ㊽その他 ( )



2. 今後の取り組みについてお尋ねします。

(5) 今後、酒蔵・酒造関係者と事業を展開していきたいですか。(必須)

- ① 積極的に展開していきたい
- ② 機会があれば展開したい
- ③ どちらともいえない
- ④ あまり展開したくない
- ⑤ 全く展開したくない

(6) 今後、どのような業種の方と新たなつながりや人脈を作りたいですか。

- ① 酒蔵を運営している方
- ② 酒蔵ガイドをしている方
- ③ お酒を販売している方
- ④ 「酒蔵ツーリズム」を実践している方
- ⑤ その他 ( )

(7) 「日本酒蔵ツーリズム推進協議会」が FAM\*ツアーを実施・参加者を募集したら、参加したいと思いませんか。(必須)

\*FAM ツアーとは、旅行代理店やインフルエンサーに向けた体験視察ツアーで、旅行商品造成に役立ててもらいつつ、体験したことをブログやSNSなどのメディアで発信し、地域の魅力を伝えて頂くものです。

- ① 是非、参加したい
- ② 機会があれば参加したい
- ③ どちらとも言えない
- ④ あまり参加したくない
- ⑤ 参加したくない

(8) 今後、どのエリアの酒蔵と連携したいと考えますか。(複数回答)

- ① 北海道
- ② 東北 (青森・岩手・秋田・宮城・山形・福島)
- ③ 関東 (群馬・栃木・茨城・東京・神奈川・埼玉・千葉)
- ④ 甲信越 (山梨・長野・新潟)
- ⑤ 北陸 (富山・石川・福井)
- ⑥ 東海 (静岡・愛知・岐阜・三重)
- ⑦ 関西 (滋賀・京都・大阪・兵庫・和歌山)
- ⑧ 中国 (岡山・広島・鳥取・島根・山口)
- ⑨ 四国 (香川・徳島・愛媛・高知)
- ⑩ 九州 (福岡・佐賀・長崎・大分・熊本・宮崎・鹿児島)
- ⑪ 沖縄
- ⑫ 連携したいとは思わない

3. 「日本酒蔵ツーリズム推進協議会」についてお尋ねします。

(9) 「日本酒蔵ツーリズム推進協議会」は聞いたことがありますか。(必須)

- ① 聞いたことがあります、既に入会している
- ② 聞いたことがあります、何をしている団体か知っているが入会していない
- ③ 聞いたことはあるが、何をしている団体か知らない
- ④ 聞いたことはない

(10) 「酒蔵ツーリズム」とは、「日本酒・焼酎・泡盛・ワイン・ビールなどの酒蔵を巡り、地域の方々と触れ合い、お酒を味わう。そして、そのお酒が育まれた土地を散策しながら、その土地ならではの郷土料理や伝統文化を楽しむ旅行」のことです。

ひとりの旅行者として、「酒蔵ツーリズム」に参加してみたいと思いますか。(必須)

- ① ぜひ参加してみたい
- ② 機会があれば、参加したい
- ③ どちらとも言えない
- ④ あまり参加したとは思えない
- ⑤ 参加したくない

(11) 「日本酒蔵ツーリズム推進協議会」は以下のとおりの事業を展開しております。魅力的だと思ふ事業をお教えてください。(複数回答)(必須)

- ① 外国人受入態勢標準化ツール(酒蔵ガイド)の提供  
参考：<https://www.nihon-kankou.or.jp/sakagura/guidetool/>
- ② 当協議会主催の酒蔵ツーリズム関係セミナー等への無料参加  
(実績：令和元年度は酒蔵ツーリズムセミナーを2回開催)
- ③ 酒蔵ツーリズムのプロモーションサポート(サイト・SNS情報掲載、旅行会社・メディアへの優先紹介など)  
実績：ツーリズム EXPO ジャパン 2019「酒蔵ツーリズムブース」への出展、  
日本観光振興協会の季刊誌「観光とまちづくり」へ掲載など
- ④ 公益社団法人日本観光振興協会の会員サービスの一部提供  
参考：<https://www.nihon-kankou.or.jp/home/kaiin/>
- ⑤ その他( )
- ⑥ 魅力的だと思ふ事業はない

(12) 「日本酒蔵ツーリズム推進協議会」の年会費3万円です(公益社団法人日本観光振興協会の正会員は年会費3万円の負担は任意)。入会したいと感じますか。(必須)

- ① 年会費3万円なら入会を検討する
- ② 年会費3万円は高く、入会したいとは思わない
- ③ 現在「日本酒蔵ツーリズム推進協議会」に入会している

(13) 日本酒蔵ツーリズム推進協議会は、「日本酒蔵ツーリズム推進協議会公式ホームページ」をリニューアルしました。(令和2年3月下旬)

▶ <https://www.nihon-kankou.or.jp/sakagura/>

このホームページを活用したいと思いますか。

- ① 大いに活用したい
- ② 活用したい
- ③ どちらともいえない
- ④ あまり活用したくない
- ⑤ 活用したくない

(14) その理由についてお教えてください。

(250字以内で自由にご記入ください)

(15) 「日本酒蔵ツーリズム推進協議会」に求める事業等があれば、お知らせください。

(250字以内で自由にご記入ください)

(16) 「日本酒蔵ツーリズム推進協議会」の事務局機能を担っている「(公社)日本観光振興協会」に対し、ご意見等ありましたらお知らせください。

(250字以内で自由にご記入ください)

(17) ご回答いただいた方についてご記入ください。

○会社名: \_\_\_\_\_

○所属部署: \_\_\_\_\_

○お名前: \_\_\_\_\_

○お電話: \_\_\_\_\_

○E m a i l: \_\_\_\_\_

○本アンケート結果について、データでの共有を

希望します (上記アドレス宛にお送りいたします)

希望しません